

Canon

ミニヒア<sup>®</sup>  
PC110

## ご愛用の手引き

ご使用前に、必ずこのご愛用の手引きをお読みください。  
将来いつでも使用できるように、大切に保管してください。








# はじめに

このたびはキヤノンミニコピーPC110をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

ご使用になる前に必ずこの『ご愛用の手引き』をお読みください。また、お読みいただきました後も大切に保管してください。

## この『ご愛用の手引き』内のマークについて

-  **警告** 取扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う恐れのある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。
-  **注意** 取扱いを誤った場合に、傷害を負う恐れや物的損害が発生する恐れのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。
-  **お願い** 操作上必ず守っていただきたい重要事項や禁止事項が書かれています。機械の故障や損傷を防ぐために、必ずお読みください。
-  **重要** 操作上の重要事項や禁止事項などが書かれています。誤った操作をしないために必ずお読みください。
-  **参考** 操作の参考となることや補足事項が書かれています。お読みになることをおすすめします。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づく第二種情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。『ご愛用の手引き』に従って正しい取り扱いをしてください。



当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

国際エネルギースタープログラムは、コンピュータをはじめとしたOA機器の省エネルギー化推進のための国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっています。対象となる製品はコンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリおよび複写機等のOA機器で、それぞれの基準ならびにマーク（ロゴ）は参加各国の間で統一されています。

# もくじ

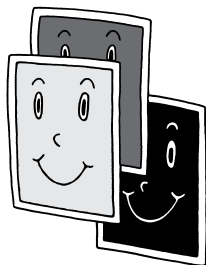
## はじめに

ご使用の前に	▲安全にお使いいただくために	6
	取扱い上のご注意	12
	設置場所	13
	コピー禁止事項	15
	運ぶときには	16
	各部のなまえとはたらき	17
	設置手順	19
コピーのとりかた	コピー用紙のセット	24
	コピーの手順	26
	厚い本や大きな原稿をコピーするとき	28

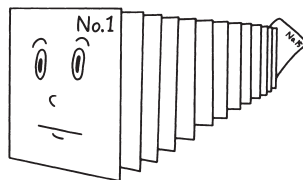
いろいろな機能をつかって	コピー濃度の調節	
	コピー枚数の設定	
	定形倍率指定で拡大・縮小コピーする	
	パーセント指定で拡大・縮小コピーする	
	お好みの用紙にコピーする（手差しコピー）	
	両面コピーをとる（カセットに用紙をセットする場合）	
	両面コピーをとる（手差しコピーを用いる場合）	

カートリッジの交換と保管	カートリッジについて	40
	カートリッジと定着器クリーナー	42
こんなときは	<b>P</b> が点灯したら（紙補給／紙送り点検）	48
	<b>Ⓜ</b> が点滅したら（紙づまり）	49
	<b>E</b> と数字が点滅したら	51
	機械が動かない／画像が出ない	52
	帯状に黒くなる／全体が黒くなる	54
	帯状に白くなる	56
	どうしても直らないときは	58
ふだんのお手入れと保守・サービス	ふだんのお手入れ	62
	保証および保守サービスについて	63
	コピー用紙保管上の注意	64
	PC110の仕様	65
	付属品・消耗品	66

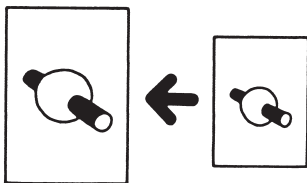
コピー濃度の調整  
(P30)



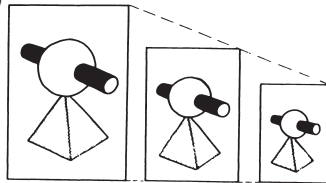
コピー枚数の設定 (P32)



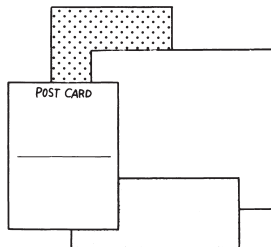
定形倍率指定で拡大・縮小コピーする  
(P33)



パーセント指定で拡大・縮小コピーする  
(P34)



お好みの用紙にコピーする (手差しコピー) (P36)



両面コピーをとる  
(P37)





# B4サイズが等倍でとれるパーソナルズームPPC

## 1 B4等倍原稿にも対応

- ・パーソナルPPCながら、小さく・軽いオフィス用のB4サイズ原稿に対応
- ・カセットは本体内部に収納。また原稿台固定のため、使いやすく場所をとらない省スペース
- ・厚手のブック原稿も簡単にコピーできます。

## 2 便利なズーム機能などを装備

- ・70%～141%まで、1%刻みで好みのサイズでコピー可能
- ・2段階縮小、2段階拡大の定形変倍も装備
- ・コピースピードもA4サイズ：10枚／分と快適スピード

## 3 自動コピースタートで、連続コピーが可能

- ・電源をONしてスタートボタンを押せば、ウェイトタイム終了後自動的にコピースタート可能。しかも、最大99枚の連続コピーにも対応
- ・オート濃度調整機構により、新聞や青焼き原稿も適切な濃度で美しくコピー

## 4 多彩な用紙に対応する、カセットと手差しの2ウェイ給紙

- ・B4～A5サイズまで、対応する250枚ユニバーサルカセットを装備
- ・手差し給紙機構により、B4～名刺サイズまでの用紙に対応

## 5 一体型カートリッジによる、イーザーメンテナンスを実現

- ・PPCの心臓部である、ドラム・クリーナー・現像器等の一体型カートリッジの採用

## 6 オートパワーオフ機能を装備

- ・国際エネルギースタートプログラム対応の省電力タイプ
- ・コピー終了後、またはキー操作後、約4分間操作を行わなかった場合は、自動的に電源が切れます。

# 1 **ご使用前に**

本機を取り扱う上での注意事項が書かれていますので、ぜひお読みください。また、設置手順や移動方法、保守（メンテナンス）についても説明します。

# ⚠️安全にお使いいただくために 設置について

**⚠️ 警告** ● アルコール、シンナーなどの引火性溶剤の近くに設置しないでください。引火性溶剤が機械内部の電気製品などに接触すると、火災や感電の原因になります。

**⚠️ 注意** ● ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所や振動の多い場所に設置しないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因になることがあります。

● 機械には通気口がありますので、壁や物でふさがないように設置してください。必ず壁から10cm以上離して下さい。通気口をふさがれると機械内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。

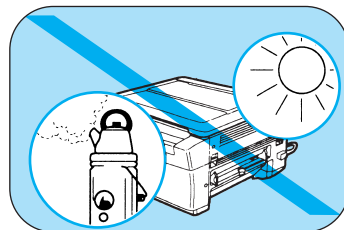
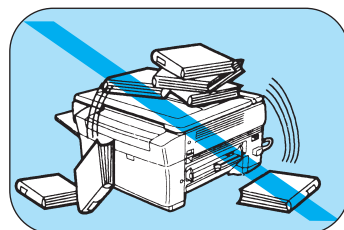
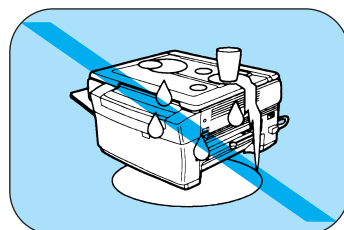
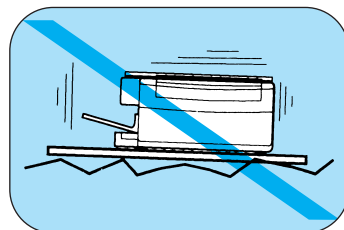
● 機械の上に次のような物を置かないでください。これらが機械内部の電気製品などに接触すると、火災や感電の原因になることがあります。

- ・ネックレスなどの金属物
  - ・コップ、花瓶、植木鉢など、水や液体が入った容器
- これらが機械内部に入った場合は、直ちに電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてお買い求めの販売店または担当サービスに連絡してください。

● 機械の上に重い物をのせないでください。置いたものが倒れたり、落ちてけがの原因となる場合があります。

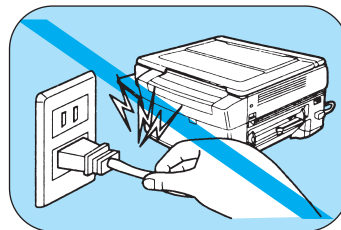
● 機械を次のような場所に設置しないでください。火災や感電の原因になることがあります。

- ・湿気やほこりの多い場所
- ・直射日光のあたる場所
- ・高温の場所
- ・火気に近い場所

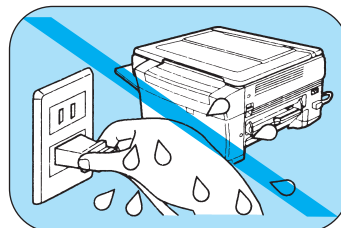


## 電源について

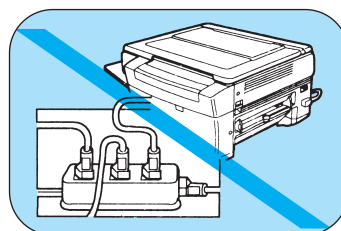
- ⚠ 警告** ● 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものをのせたり、電源コードをひっぱったり、無理に曲げたりしないでください。傷ついた部分から漏電して、火災や感電の原因になります。



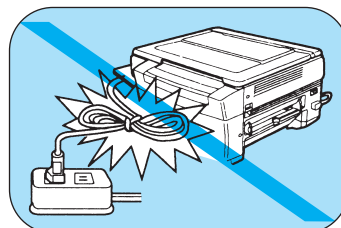
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。(14ページ参照)



- タコ足配線は行わないでください。火災や感電の原因になります。

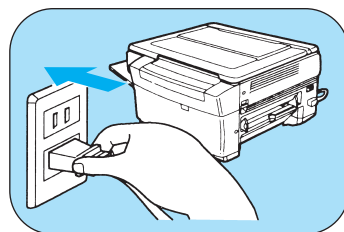


- 電源コードを束ねたり、結んだりしないでください。火災や感電の原因になります。



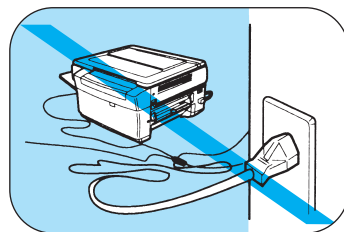


- 電源コードはコンセントの奥までしっかりと差し込んでください。しっかりと差し込まないと、火災や感電の原因になります。



- 同梱されている電源コード以外は使用しないでください。火災や感電の原因になります。

- 原則的に延長コードは使用しないでください。また、延長コードの多重配線はしないでください。火災や感電の原因になることがあります。やむを得ず延長コードを使用する場合は、100V 15A以上のものを使用してください。使用時は束ねをほどこき、電源コードと延長コードの接続が確実にできるように奥まで電源プラグを差し込んでください。



- アース線を接続するときは、以下の点にご注意ください。

[アース線を接続してよいもの]

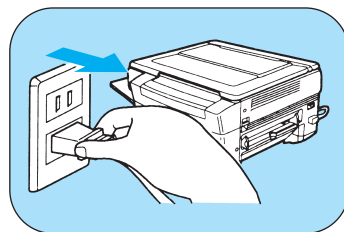
- ・コンセントのアース端子
- ・接地工事（第1種～第3種）が行われているアース端子
- ・銅棒65cm以上地中に埋めたもの

[アース線を接続してはいけないもの]

- ・水道管…配管の途中でプラスチックになっている場合があり、その場合にはアースの役目を果たしません。ただし、水道局がアース対象物として許可した水道管にはアース線を接続できます。
- ・ガス管…ガス爆発や火災の原因になります。
- ・電話線のアースや避雷針  
…落雷のときに大きな電流が流れ、火災や感電の原因になります。

- ▲ 注意** ● AC100V以外の電源電圧で使用しないでください。火災や感電の原因になることがあります。

- 電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードをひっぱると、電源コードの芯線の露出、断線など電源コードが傷つき、その部分から漏電して、火災や感電の原因になることがあります。（14ページ参照）

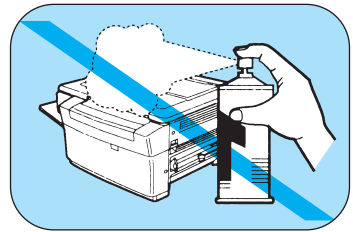
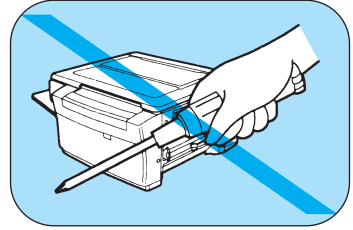


- いつでも電源プラグが抜けるように、電源プラグのまわりには物を置かないでください。非常時に電源プラグを抜けなくなります。

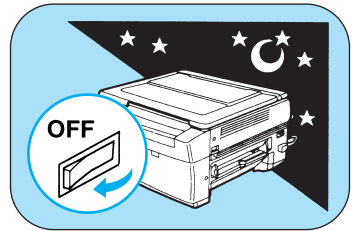
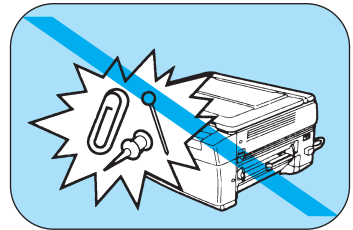
- アース線を接続してください。アース線を接続しないで万一漏電した場合は、火災や感電の原因になることがあります。

## 取扱い上のご注意

- ▲ 警告**
- 機械を分解したり、改造しないでください。内部には高温・高圧の部分があり、火災や感電の原因になります。
  - 異常な音が出たり、煙が出たり、熱が出たり、変なにおいがした場合は、直ちに電源スイッチを切り、電源プラグを抜き、お買い求めの販売店または担当サービスにご連絡ください。そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。
  - 機械の近くでは、可燃性のスプレーなどは使用しないでください。スプレーのガスが機械内部の電子部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。
  - 機械を移動させる場合は、必ず電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてから行ってください。電源コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

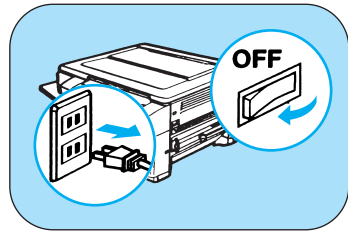


- ▲ 注意**
- 機械内部にクリップやホッチキスの針などの金属片を落とさないでください。また、水などの液体をこぼさないでください。これらが危険な電圧部分に接触したり、短絡させたりすると、火災や感電の原因となる恐れがあります。
  - 原稿台カバーは、手を挟まないように静かに閉じてください。けがの原因になることがあります。
  - 夜間等で長時間ご使用にならない場合は、安全のため電源スイッチを切ってください。また、連休等で長期間ご使用にならない場合は、安全のため電源プラグを抜いてください。
  - 機械を持ち運ぶときは、指定された場所を持ってください。機械を落として、けがの原因になることがあります。



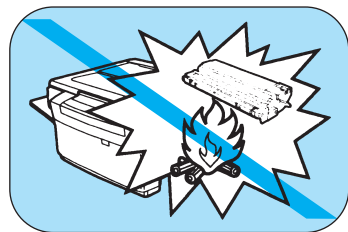
## 保守／点検について

- ▲ 警告**
- 清掃のときは、電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いてください。火災や感電の原因になります。



- 清掃のときは、中性洗剤を含ませて固く絞った布を使用してください。アルコール、ベンジン、シンナーなどの引火性溶剤は使用しないでください。引火性溶剤が機械内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。

- 使用済みカートリッジを火中に投じないでください。カートリッジ内に残ったトナーに引火して、やけどや火災の原因になります。



- ▲ 注意**
- 機械内部には定着器など高温、高圧になる部分があります。紙づまりの処理など内部を点検するときは、これらの部分に触れないように点検してください。やけどや感電の原因になることがあります。(49ページ参照)

- 紙づまりの処理など内部を点検するときは、ネックレス、プレスレットなどの金属物が機械内部に触れないように点検してください。やけどや感電の原因になることがあります。(49ページ参照)

- 紙づまりでコピー用紙を機械内部から取り除くときは、紙づまりしているコピー用紙の上ののっているトナーが衣服や手に触れないように取り除いてください。衣服や手が汚れます。衣服や手が汚れた場合は、直ちに水で洗い流してください。温水で洗うとトナーが定着し、よごれがとれなくなることがあります。(49ページ参照)

- 紙づまりでコピー用紙を機械内部から取り除くときは、紙づまりしているコピー用紙の上ののっているトナーが飛び散らないように、丁寧に取り除いてください。トナーが目や口などに入ることがあります。トナーが目や口に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師と相談してください。(49ページ参照)

- コピー用紙を補給するとき、原稿づまりや紙づまりを取り除くときは、原稿やコピー用紙の端で手を切ったりしないように、注意して扱ってください。(24、37、49ページ参照)

## 消耗品について

- ▲ 警告**
- カートリッジを火中に投げないでください。カートリッジ内部にあるトナーに引火して、カートリッジが燃えて、やけどや火災の原因になります。
  - カートリッジ、コピー用紙は火気のある場所に保管しないでください。トナーやコピー用紙に引火して、やけどや火災の原因になります。

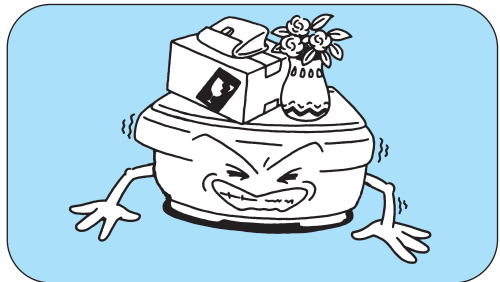
- ▲ 注意**
- カートリッジなどの消耗品は幼児の手が届かないところへ保管してください。もしカートリッジ内のトナーを飲んだ場合は、直ちに医師と相談してください。



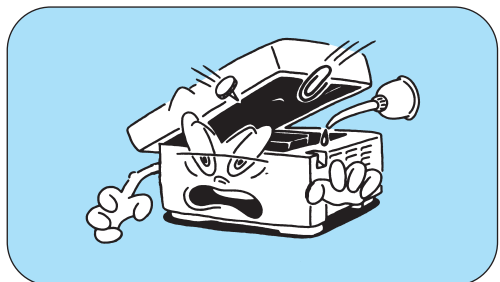
# 取扱い上の注意

PC110を使用するさいは、次のことにご注意ください。

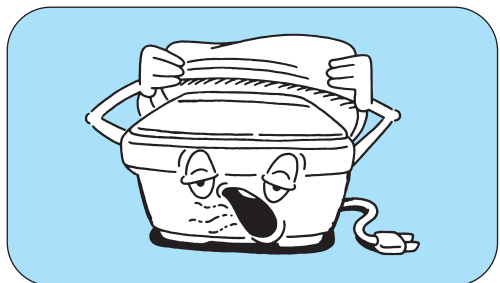
- ・原稿台の上に原稿以外のものを置いたり、原稿台を強く押さえつけたりしないでください。
- ・原稿の許容荷重は2kgまでです。(約1,500ページの電話帳1冊分)



- ・本体を開けたときは、必要な操作が終わり次第、静かに本体を閉じてください。(手をはさまないようにご注意ください)
- ・本体内部に異物、特にクリップやホッチキスの針などの金属片を落とさないでください。また、水などの液体をこぼさないでください。これらが危険な電圧部分に接触したり、短絡させたりすると、火災や感電の原因となる恐れがあります。
- ・注油はしないでください。

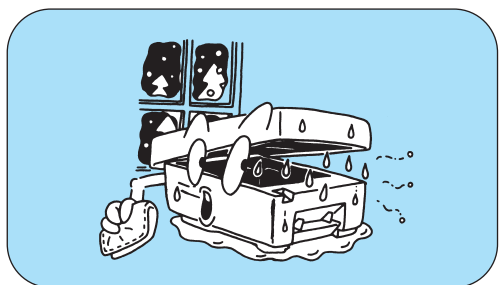


- ・使用後カバー等をかけるときには、電源スイッチを切り、本体が冷えてからかけてください。
- ・長時間使用しない場合は、電源コードを抜いてください。
- ・ほこりの多い場所、直射日光のあたる場所には置かないようにしてください。
- ・万一異常な音がしたり煙が出たりした場合は、直ちに電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いて担当のサービスにご相談ください。



## 結露（露付き）のご注意

寒い戸外から暖かい部屋に複写機を持ち込んだり、部屋を急に暖房したりすると、複写機内部に水滴がつき（この現象を結露といいます）、画像が出なくなることがあります。この場合は、本機を2時間以上放置し、室温になじませてからご使用ください。

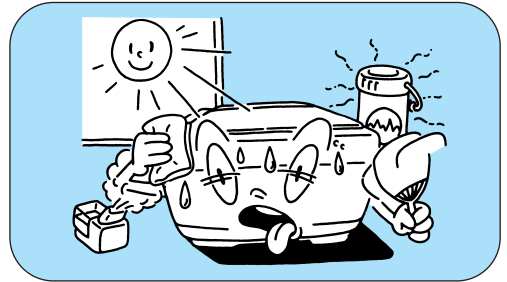


# 設置場所

PC110の設置場所には、以下の条件を満たす場所を選んでください。

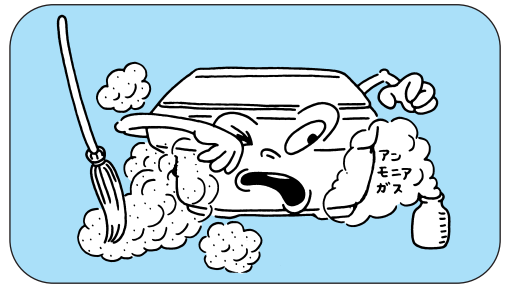
## 直射日光の当たらない涼しいところ

- ・直射日光の当たる窓際や、ストーブ・加湿器の前など高温多湿になるところには置かないでください。また急激な温度・湿度の変化は避けてください。
- ・望ましい環境は温度20～25℃、湿度40%～70%程度です。

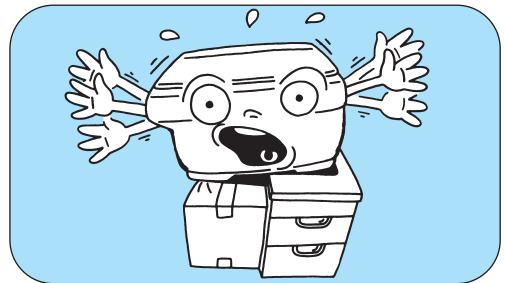


## 換気のよいところ

- ・ホコリの多い場所やアンモニアガスの発生する場所は避けてください。
- ・複写機の使用中はオゾンが発生しますが、その量は人体に影響を及ぼさないレベルです。ただし、換気の悪い部屋で長時間使用したり、大量にコピーをとる場合には、臭気が気になることもありますので、快適な作業環境を保つために部屋の換気をするをお勧めします。

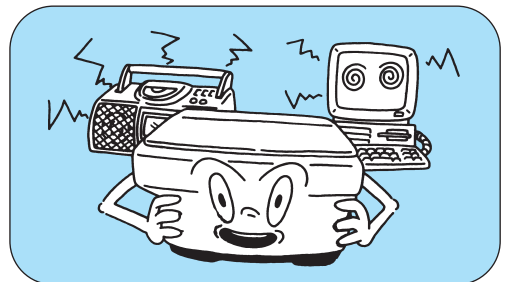


## 水平なところ



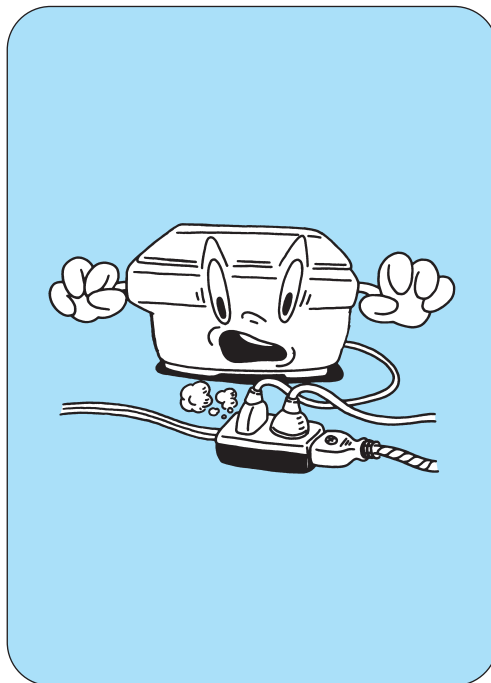
## 電子機器や精密機器から離れたところ

- ・コンピュータなどの近くに設置すると、電気的な原因やコピー時の振動により悪影響を与えることがあります。
- ・テレビ、ラジオなどの近くに設置すると、雑音・チラつきなどの受信障害が生ずることがあります。別システムの電源を使用し、できるだけ離して設置してください。



## 電源は100V15A以上のコンセントに接続してください

- ・電源の許容範囲を越える接続は危険です。
- ・同じコンセントに他の電気製品を接続しないでください。
- ・タコ足配線はしないでください。
- ・電源コードの上には何も載せないでください。
- ・万一異常な音がしたり煙が出たりした場合は、直ちに電源プラグを抜いて、担当のサービスにご連絡ください。また電源プラグがいつでも引き抜けるように、まわりにはものを置かないでください。



## ●アース線の接続

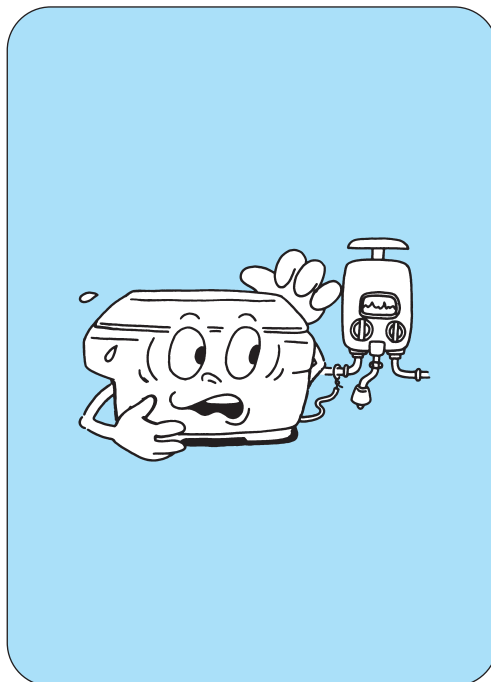
感電防止のためアース線を接続してください。

<アース線を接続してよいもの>

- ・コンセントのアース端子
- ・銅棒を65cm以上地中に埋めたもの

<アース線を接続してはいけないもの>

- ・水道管…配管の途中がプラスチックになっていることがあり、その場合はアースの役目をしません。ただし、水道局がアース対象物として許可した水道管にはアース線を接続できます。
- ・ガス管…引火や爆発の危険があります。
- ・電話線のアースや避雷針…落雷のときに大きな電流が流れ危険です。



# コピー禁止事項

複写機で何をコピーしてもよいとは限りません。特に法律によって、単にそのコピーを所有するだけでも罰せられるものもありますのでご注意ください。

## 1. 法律で禁止されているもの

- ・紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方債証券はコピーすることを禁止されています。たとえ見本の印が押してあってもコピーすることはできません。
- ・外国において流通する紙幣、貨幣、証券類のコピーも禁止されています。
- ・政府の許可をとらない限り、未使用郵便切手、官製はがきの類をコピーすることは禁止されていません。

## 2. 注意を要するもの

- ・民間発行の有価証券（株券、手形、小切手など）、定期券、回数券などは、事業会社が業務に供するための最低必要部数をコピーする以外は、政府の指導によって、注意を呼びかけられています。
- ・政府発行のパスポート、公共機関や民間団体発行の免許証、許可証、身分証明証や通行券、食券などの切符類も許可なしにコピーしないでください。

（関係法律） ○刑法

○通貨及び証券模造取締法

○外国に於て流通スル貨幣、紙幣、銀行券、証券、偽造変造及び模造ニ関スル法律

○郵便法

○郵便切手類模造等取締法

○印紙犯罪取締法

○印紙等模造取締法

## 3. 著作権の目的となっているもの

- ・書籍、音楽、絵画、版画、地図、図面、映画および写真などの著作物は、個人的に、または家庭内、その他これに準ずる限られた範囲で使用するためにコピーする以外は禁止されています。

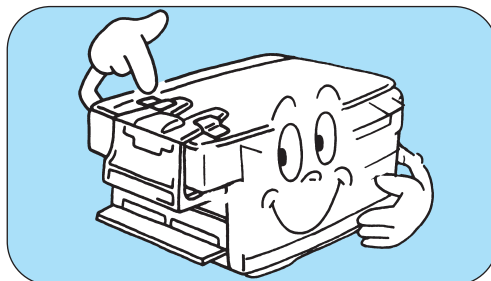


# 運ぶときには

PC110を移動させるさいの注意事項を説明します。

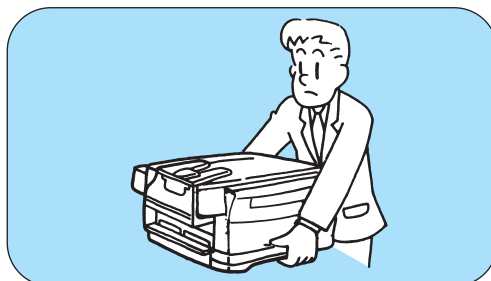
## 移動させるときは

- ・ 本体からカセットを抜いてください。
- ・ 長距離を運ぶときは、排紙トレイを折りたたみ、テープなどでとめてください。
- ・ 振動が予想されるときは、トナー（カートリッジ内の粉末）が機内に漏れないよう、本体からカートリッジを抜いてください。



## 持ち上げるには

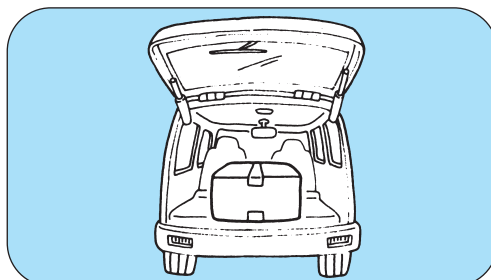
イラストのように、前と後ろの溝に手をかけ、背筋を伸ばしてゆっくり持ち上げてください。



## 自動車で運ぶときは

トランク内の水平で安定したところに置いてください。

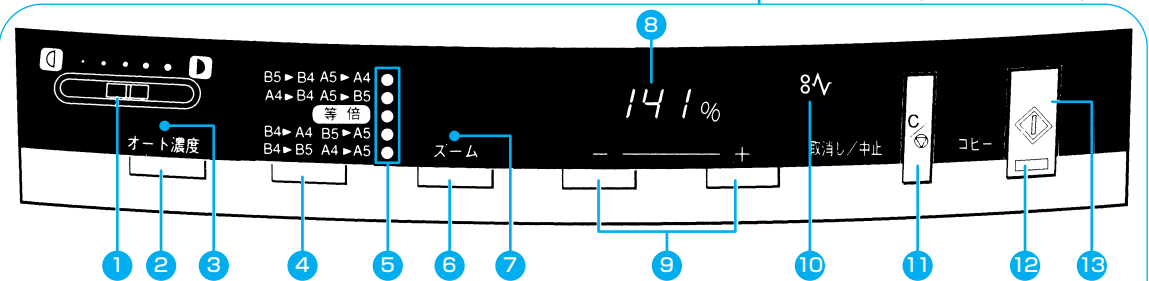
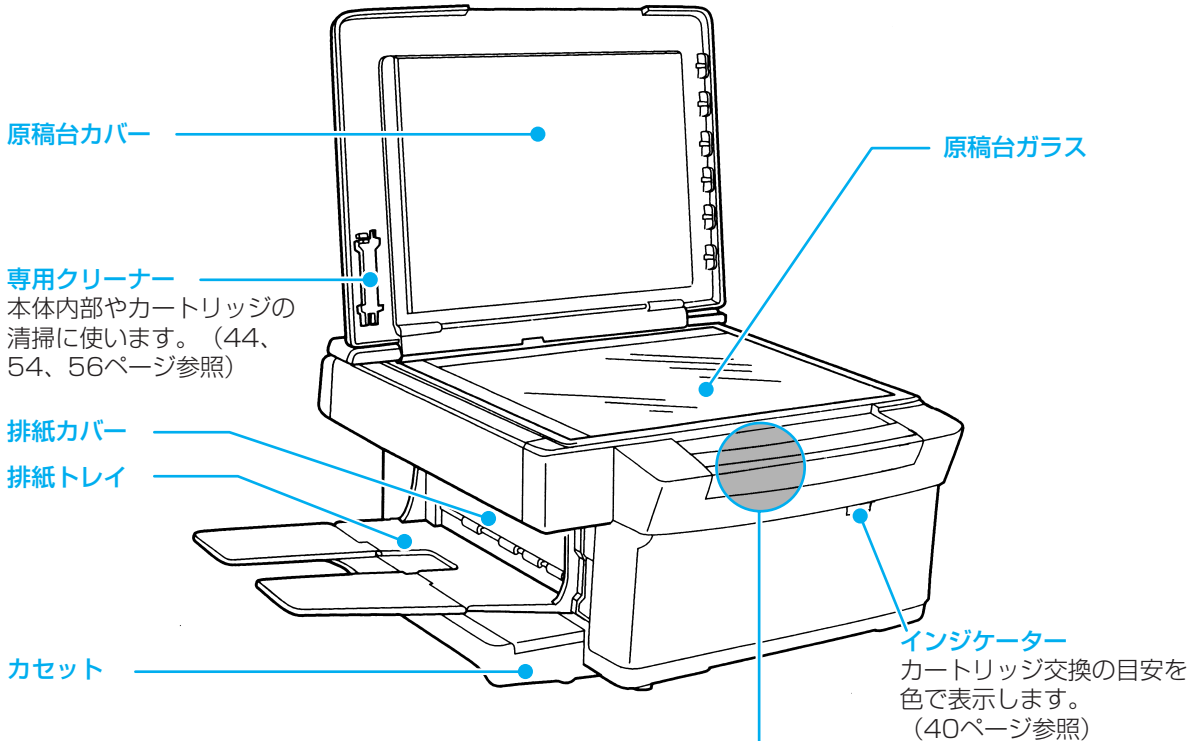
- ・ トランクの中は想像以上に高温または低温になることがありますので、長時間入れたままにしないでください。
- ・ 悪路走行などによる急激な振動は避けてください。
- ・ 直射日光が当たらないようにカバーをしてください。



## お引越しのさいは

本機は電源周波数50Hz地域用と60Hz地域用のそれぞれ専用となっています。転居にともない電源周波数が変わりますと、所定の性能が得られなかったり、故障の原因となります。お引越しのさいは、お買い求めの販売店にご相談ください。

# 各部のなまえとはたらき



## ① コピー濃度調整レバー

コピー濃度を手動で調整するときにはスライドさせます。(30ページ参照)

## ② オート濃度キー

コピー濃度のオート調整(原稿に応じて自動的に調整)とマニュアル調整を切り替えます。(30ページ参照)

## ③ オート濃度表示

コピー濃度がオート調整のとき点灯、マニュアル調整のとき消灯します。(30ページ参照)

## ④ 定形変倍キー

原稿の画像を定形サイズに拡大または縮小するときを押します。(33ページ参照)

## ⑤ 定形変倍表示

定形サイズに拡大・縮小するときの倍率を示します。等倍コピーのときは「等倍」が点灯しています。(33ページ参照)

## ⑥ ズームモードキー

パーセント指定で拡大または縮小するときを押します。(34ページ参照)

## ⑦ ズームモード表示

パーセント単位で拡大・縮小を指定するとき点灯します。(34ページ参照)

## ⑧ コピー枚数/ズーム表示

コピー枚数およびズーム%が表示されます。

## ⑨ コピー枚数/ズームセットキー

コピー枚数の設定およびズーム%の設定のときに押します。(32、34ページ参照)

## ⑩ 紙づまり表示

本体に紙が詰まったときに点滅します。(49ページ参照)

## ⑪ 取消し/中止キー

コピー枚数を1に戻すとき、また連続コピーを途中で止めるときに押します。

## ⑫ メイン/ウエイト表示

電源を入れた後、この表示が点滅から点灯に変わるとコピーが可能になります。

## ⑬ コピーキー

コピーを開始するときを押します。

**開閉レバー**  
本体を開けるときにこのレバーを持ち上げます。

**カートリッジ**

**定着部**

**アース端子**  
(本体右裏)

**電源スイッチ**

**電源コードソケット**

**右カバー**

**手差し部**

**手差しガイド**  
コピー用紙の幅に合わせてスライドさせます。  
(36ページ参照)

## カートリッジ

カートリッジはキヤノンカートリッジBをおつかいください。

**インジケーター**  
カートリッジ交換の目安を表示します。  
(40ページ参照)

**カートリッジ色表示**

**帯電線清掃溝**

**開封つまみ**

# 設置手順

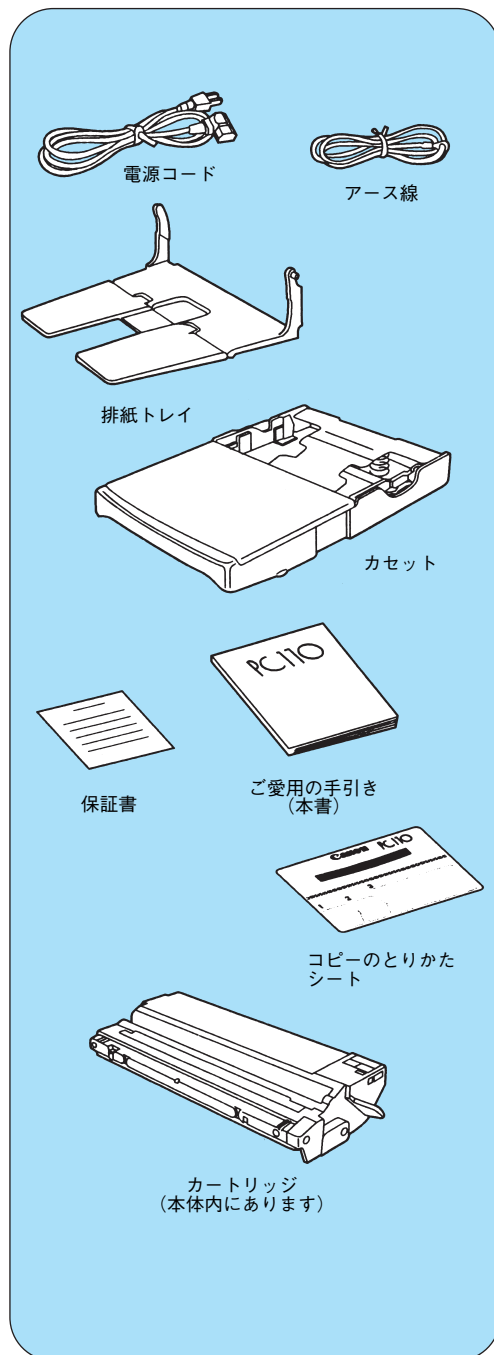
電源やアース線を接続する場所を確認してから、手順にしたがって設置してください。

## 付属品の確認

外装箱から本体及び付属品を取り出し、付属品が揃っているかどうか確認してください。

**重要**

気温の低いところから気温の高いところに本機を持ち込んだ場合、結露が生じることがありますので、2時間以上放置し、室温になじませてから袋を取り除いてください。(12ページ参照)



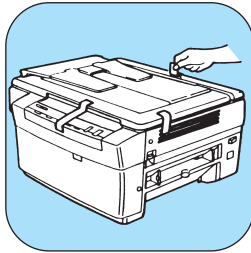


## テープ、ビス、スペーサーをはずす

## 新しいカートリッジをセットする

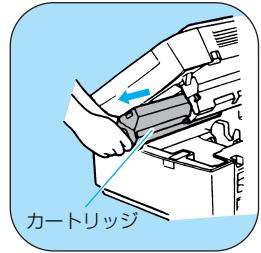
1

本体を袋から取り出し、各部をとめているテープをはがします。  
・本体を水平なところに置いてください。



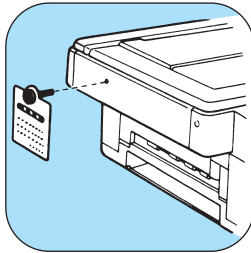
6

カートリッジを本体から引き出します。



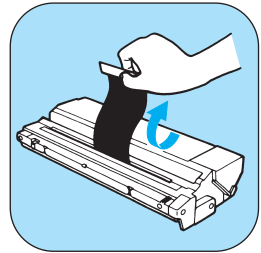
2

本体左側のオレンジ色のビスをはずします。



7

テープをはがし、保護シートを2枚取り除きます。



3

グレーのつまみを手前に引いて、排紙カバーを開けます。



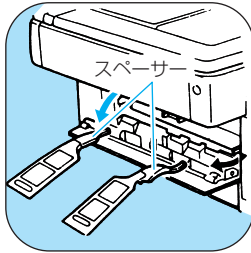
8

取り出したカートリッジを水平に持ち、両方向に90°くらい、数回振ります。



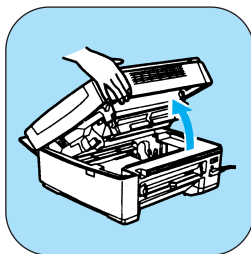
4

オレンジ色のスペーサー2個を取り除き、排紙カバーを閉じます。  
必ず排紙カバーを開いてからスペーサーを取り除いてください。本体内部に手を触れないようご注意ください。



5

グレーの開閉レバー（18ページ参照）を上へ引いて、本体を開けます。



9

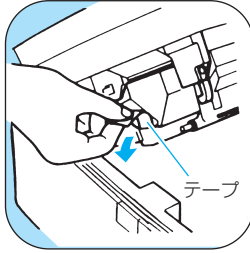
本体に突き当たるまで、カートリッジを静かに入れます。



## カートリッジの開封シールを引き抜く

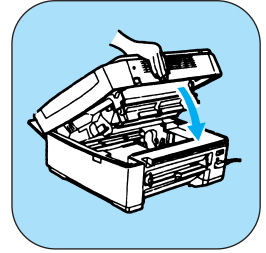
10

カートリッジの開封つまみをとめているテープをはがします。



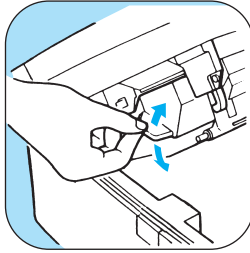
13

本体右上部の中央（手のひらのマークの位置）を押して本体を閉じます。



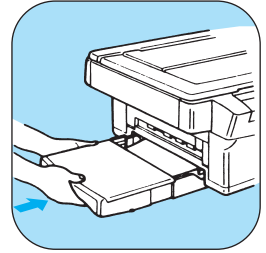
11

黒色の開封つまみを折ります。



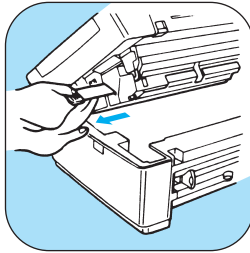
14

カセットにコピー用紙を入れ、本体に挿入します。  
コピー用紙の入れ方は24ページ、またはカセットのふたの説明をご覧ください。



12

カートリッジを手で押さえ、開封つまみを手前に引いて、開封シールを完全に引き抜きます。



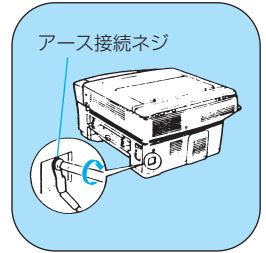
15

排紙トレイの突起が本体の四角のくぼみの穴に入るようにして取りつめます。



16

アース線を本体右裏のアース接続ネジにつなぎます。  
アース線接続時の注意については14ページをご覧ください。

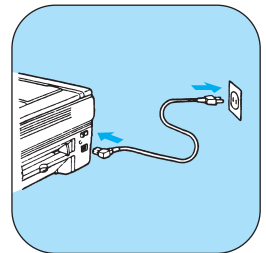


### ⚠ 警告

- ・引火や爆発の危険がありますので、アース線をガス管には絶対に接続しないでください。

17

本体に電源コードを接続し、電源プラグをコンセントに入れます。以上で設置は完了です。



### ⚠ 警告

- ・電源は必ず100V 15A以上の専用コンセントに接続してください。

# 2 コピーのとりかた

ここでは、基本的なコピーのとりかたについて説明します。

# コピー用紙のセット

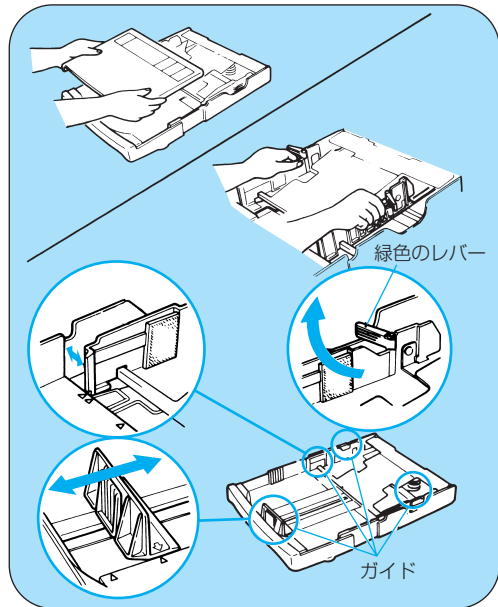
カセットに用紙を入れて本体にセットします。

## 1

カセットのふたをはずし、カセットのガイドを、用紙のサイズに合わせてスライドさせます。

- ・カセット外側の2個の緑色のレバーを外側へ開くとガイドを動かせます。ガイドを用紙の幅に合わせ、レバーをもとどおりに戻してロックします。
- ・両方のガイドを図のように両手で持って動かします。
- ・続いて、用紙の長さにガイドを合わせます。
- ・A5からB4までの紙を入れられます。

**参考** はがき、名刺、OHPフィルムなど特殊な用紙にコピーする場合は36ページをご覧ください。



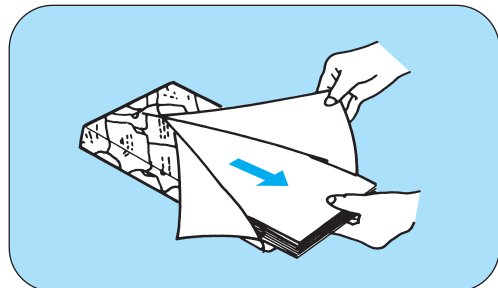
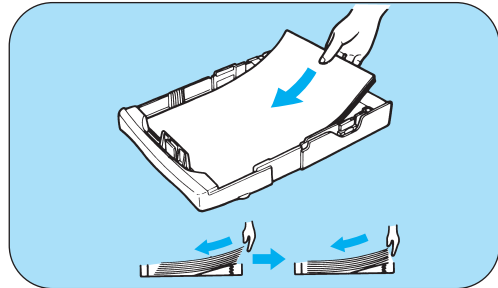
## 2

コピー用紙をさばいて端をそろえた後、中板の上に置き、先端を軽くそろえます。

**注意** コピー用紙を補給するとき、紙づまりを取り除くときは、コピー用紙の端で手を切ったりしないように、注意して扱ってください。

**重要** 紙のつぎ足し補給はなるべくしないでください。

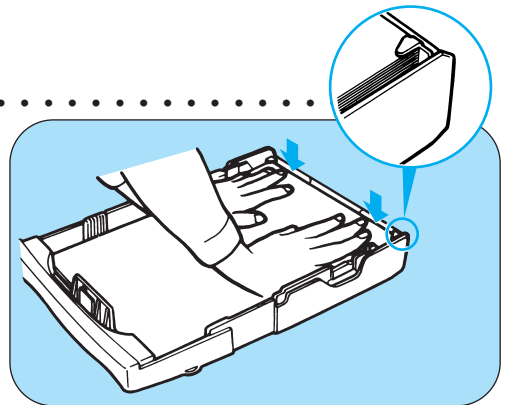
- 参考**
- ・紙の高さは積載制限ラベル(25mm、約250枚)までセットできます。
  - ・厚さ64~80g/m<sup>2</sup>の用紙を入れられます。



3

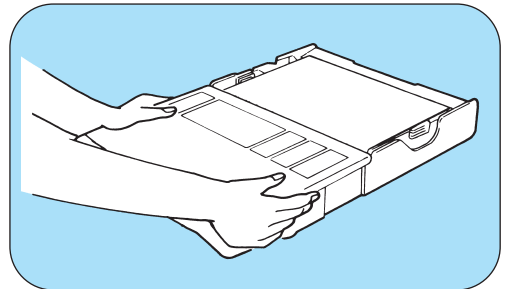
コピー用紙の両端を押して、紙の先端を左右の爪の下に入れます。

- ・紙を上から押さえると爪が上がってきます。
- ・図のように紙の端が爪の下に入るようにセットします。
- ・必要に応じてカセットのガイドを再び調整し、用紙にピッタリ合わせます。



4

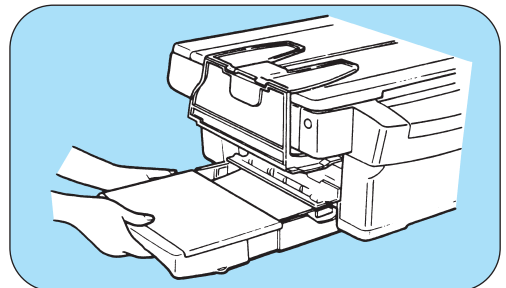
カセットのふたを閉めます。



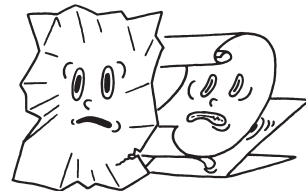
5

本体左下から、カセットを突き当たるところまで静かに挿入します。

- 参考** コピーしてみて、排紙された用紙のカールが大きかったり、紙づまりが起る場合は、コピー用紙の表裏を逆に入れかえてください。また、カセットのガイドが用紙に合っているかどうか確認してください。



**重要** しわのある用紙やカールのひどい用紙は使用しないでください。



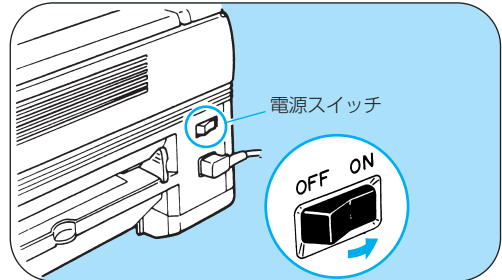
# コピーの手順

コピーをとるときの基本的手順は、次のとおりです。

## 確認

電源は入っていますか？

カセットに用紙が入っていますか？  
(24ページ参照)

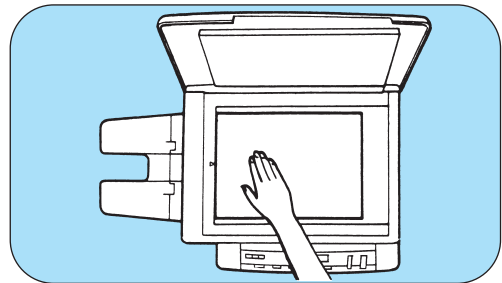


## 1

### 原稿セット

原稿台カバーを上げます。  
コピーしたい面を下向きにし、原稿台ガラスの指標に合わせてセットします。  
原稿台カバーを閉じます。

**▲注意** 原稿台カバーは、手を挟まないように静かに閉じてください。けがの原因になることがあります。



## 2

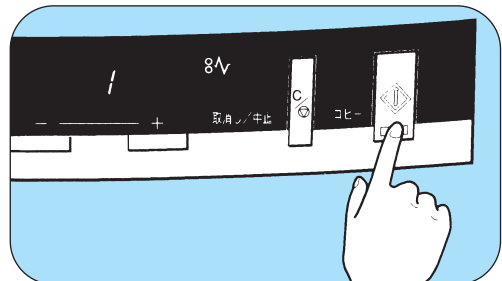
### コピーモードの設定

目的に応じてコピー枚数の設定や濃度の調整ができます。  
また、拡大、縮小コピーの指定ができます。  
枚数や濃度などの設定が必要ないときは、3に進んでください。

## 3

### コピースタート

コピーキーを押します。  
コピーを途中で止めたいときは、取消し／中止キーを押します。



## 終了

### コピー終了



## オートパワーオフ機能

本機にはオートパワーオフ機能を備えており、コピー操作終了後、約4分間何の操作もしなかった場合、自動的に電源が切れるように設定してあります。

- ☑️お願い ・長時間使用しないときには電源プラグを抜いておいてください。  
 ・コピーをとり終わったら原稿を取り出し、原稿台を閉じてください。

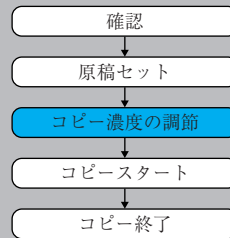
📖参考 再びコピーをとる場合は、もう一度電源スイッチをONにしてください。

厚い本や大きな原稿をコピーするとき 28ページ

コピー濃度を変えたいとき 30ページ

2枚以上コピーしたいとき 32ページ

拡大、縮小してコピーしたいとき 33、34ページ



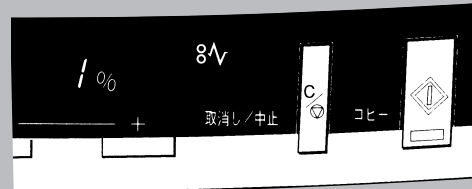
次ページから登場する流れ図は、そのページの操作をいつ行うかを表しています。たとえば、「コピー濃度の調節」のページには左のような流れ図がついているので、コピーの手順の「2」のところで濃度を設定することになります。

### メイン/ウエイト表示の見かた 点滅-準備中

このときコピーキーを押すと、コピーの用意ができた時点（メイン/ウエイト表示が点灯した時点）で自動的にコピーが始まります。

### 点灯-コピー可能

コピーキーを押すと、すぐにコピーが始まります。



本機にはオートパワーオフ機能が備わっていますが、コピーをとり終わったら原稿台カバーを閉じ、電源を切ってください。

コピー動作中は電源スイッチを切らないでください。紙づまりの原因になります。

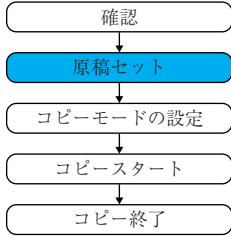
## コピー用紙について

きれいなコピーをおとりいただくため、キヤノン推奨の用紙、OHPフィルムをご使用ください。市販されている用紙のなかには本機に適さないものもありますので、ご使用の際はご購入の求めの販売店にご相談ください。

- ・用紙は、湿気が少なく直射日光が当たらない場所に保管してください。また、使いきれずに残ったコピー用紙は、湿気をさけるため包装紙に包んで保管してください。

- ・用紙は立てかけずに、水平に置いて保管してください。

# 厚い本や大きな原稿をコピーするとき



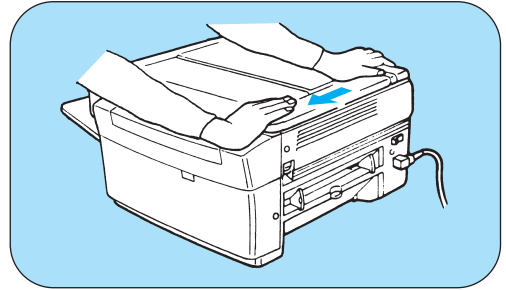
厚い本や大きな原稿をコピーするときは、原稿台カバーを取り外すと原稿をセットしやすくなります。

## 1

### 原稿台カバーを右側から外します。

図のように、原稿台カバーの右奥と手前とに手をかけて原稿台カバーを水平に保って手前に引きます。

次に同様にして原稿台カバーの左側を外します。

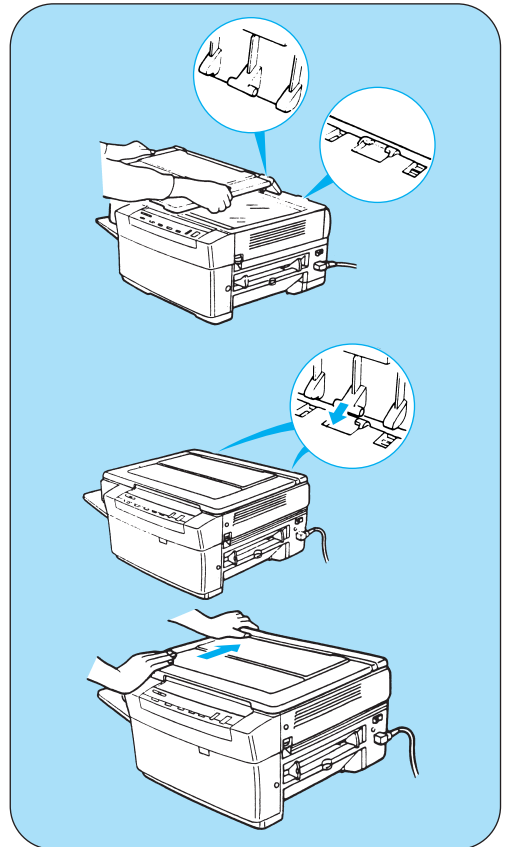


## 2

### 原稿台カバーを左側から取り付けます。

原稿台カバー内側左右後端にある突起を本体のくぼみに合わせます。

原稿台カバーを水平に置いて、右図のように原稿台カバーの奥と手前に手をかけて奥へ押して左側から取り付けます。次に同様に原稿台カバーの右側を取り付けます。



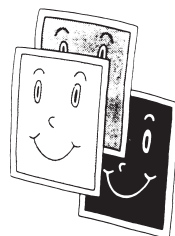
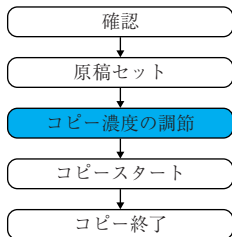
**お願い** コピー終了後は原稿台カバーを取りつけ、閉じてください。

**参考** 原稿の許容荷重は2kgまでです。(約1,500ページの電話帳1冊分)

# 3 いろいろな機能を使って

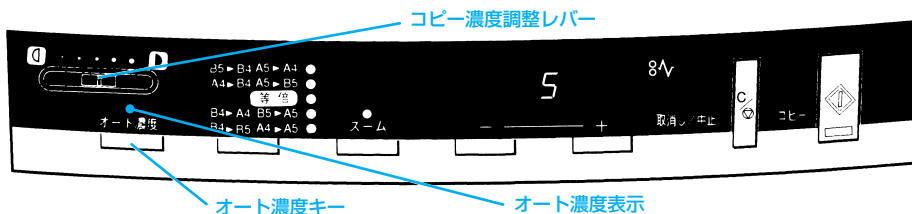
PC110には、連続コピーや拡大・縮小コピーをはじめ、便利な機能がいろいろあります。目的に応じて使いこなしてください。

# コピー濃度の調整



## オート濃度調整

通常は標準モードではオート濃度調整になっています。オート濃度調整時には、原稿の濃さに合わせて自動的に濃度が調整されます。オート濃度調整が設定されるときはオート濃度表示が点灯します。色地の原稿や新聞などをコピーするとき便利です。



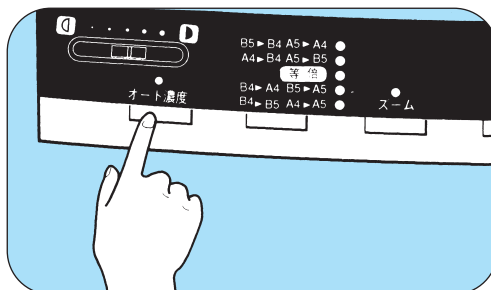
## マニュアル濃度調整

コピー濃度は、通常原稿に合わせて自動的に調整されますが、お好みに合わせて手動で調整することもできます。

1

オート濃度キーを押してオート濃度表示を消します。

- ・オート濃度表示が点灯…コピー濃度は自動的に調整されます。
- ・オート濃度表示が消灯…コピー濃度を手動で調整できます。



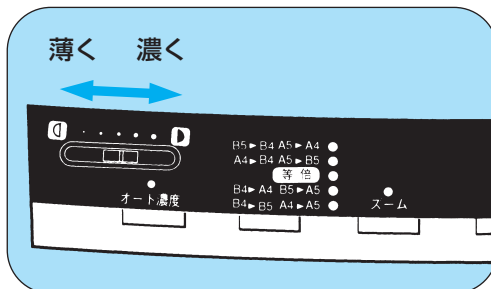
2

コピー濃度調整レバーを左右にスライドさせて濃度を調整します。

- ・濃くしたい場合は右側に、薄くしたい場合は左側に動かしてください。

### ●オート濃度調整に戻すには

再度オート濃度キーを押すと、オート濃度表示が点灯し、オート濃度調整に戻ります。



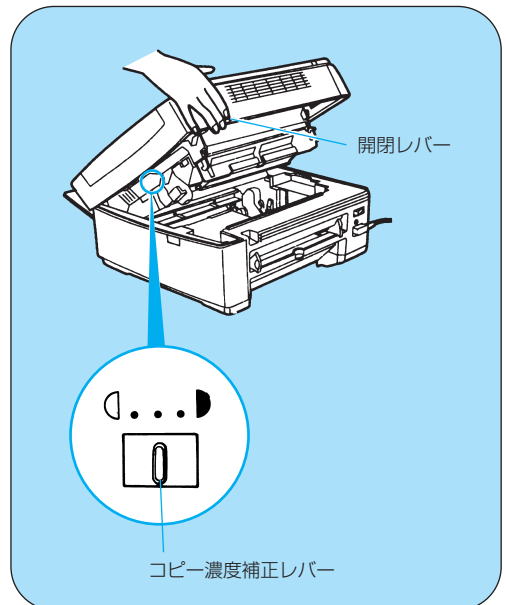
コピー終了後、またはキー操作後、2分間何の操作も行われなかった場合には、自動的に標準モード（コピー枚数1、オート濃度、等倍）に戻ります。

## オート濃度調整時にコピー面全体が薄すぎる／濃すぎる／とき (コピー濃度補正レバーの切り替え)

オート濃度調整にしたときのコピー濃度がいつも濃すぎる、または薄すぎる場合には、次の説明に従ってコピー濃度補正レバーで調整してください。オート濃度調整のときのコピー濃度を3段階に切り替えることができます。

1

グレーの開閉レバーを上へ引いて本体を開けます。

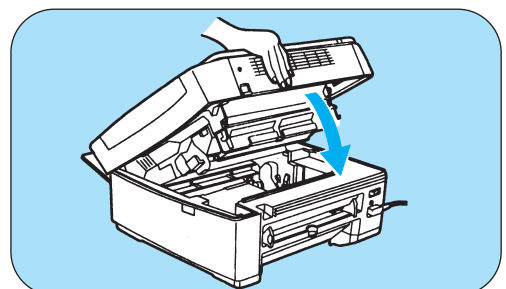


2

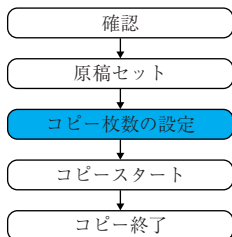
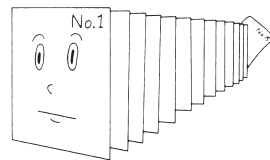
濃くする場合は緑のレバーを右へ、薄くする場合は左へ動かします。

3

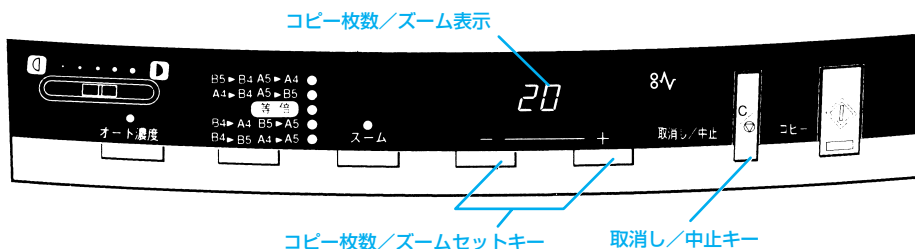
本体右上部の中央を押して本体を閉めます。



# コピー枚数の設定

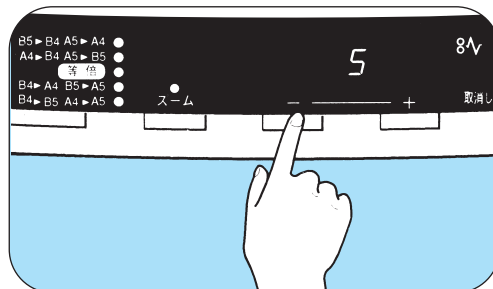


同じ原稿を何枚もコピーするときは、コピー枚数を設定します。



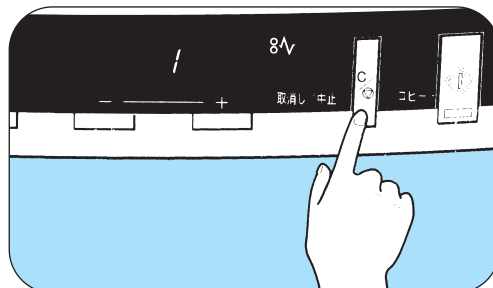
1

コピー枚数/ズームセットキーを押し、コピーしたい枚数を表示させます。  
+を押すと枚数表示の数字が増えます。-を押すと減ります。  
最高99枚まで設定できます。

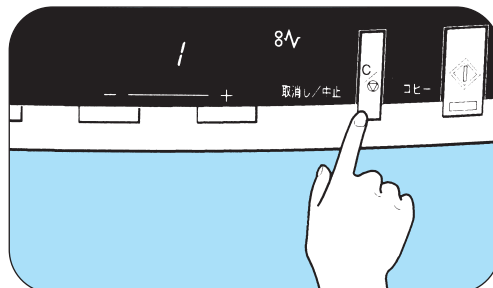


2

●コピー枚数を1に戻すには  
取消し/中止キーを押すと、枚数表示が1に戻ります。



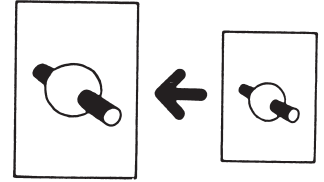
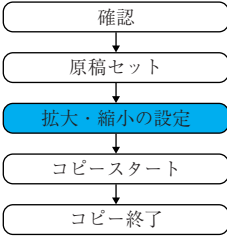
●コピーを途中でとめるには  
複数枚のコピーをしているときに取消し/中止キーを押すと、コピーを途中でとめることができます。



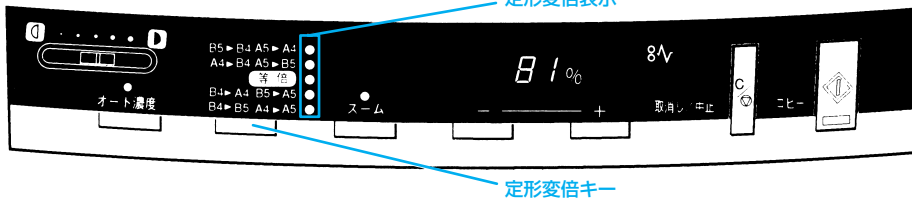
コピー終了後、またはキー操作後、2分間何の操作も行われなかった場合には、自動的に標準モード（コピー枚数1、オート濃度、等倍）に戻ります。



# 定形倍率指定で拡大・縮小コピーする

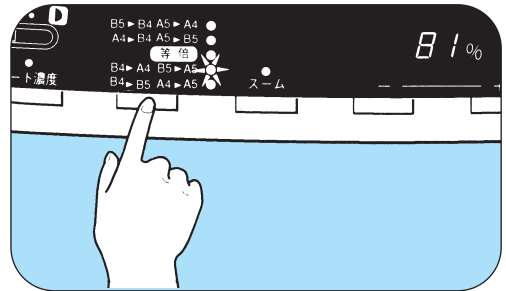


大学ノート2ページ分 (B4サイズ) をA4サイズ用紙にコピーするときなどは、定形変倍キーで倍率指定をします。



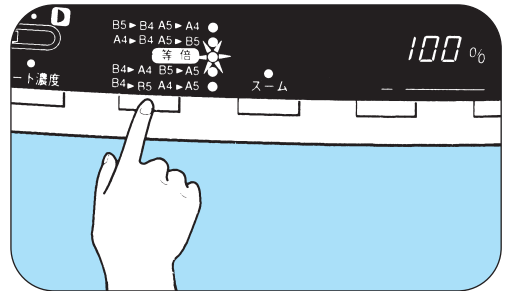
1

定形変倍キーを何度か押して、お望みの定形変倍表示を点灯させます。  
たとえば、B4サイズの原稿を縮小してA4サイズ用紙にコピーしたいときは、「B4▶A4 B5◀A5」を点灯させます。



2

●等倍コピーに戻すには  
定形変倍キーを何度か押して、「等倍」を点灯させます。



## ●定形サイズとは

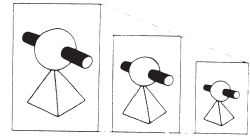
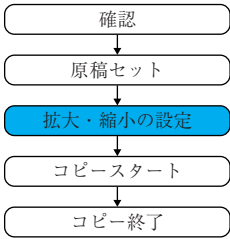
定形変倍表示に表示されている用紙サイズをmm単位で表すと右のようになります。

A4	210×297mm
A5	148×210mm (A4の半分)
B4	257×364mm
B5	182×257mm (B4の半分)

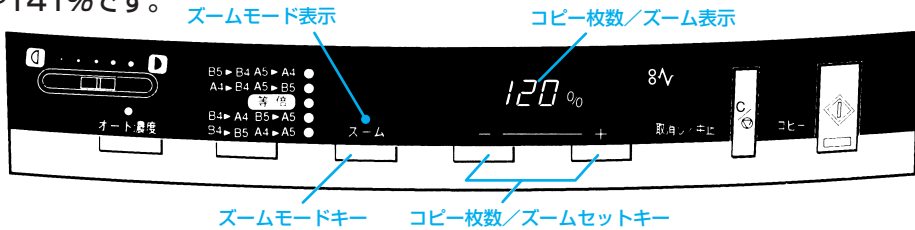


コピー終了後、またはキー操作後、2分間何の操作も行われなかった場合には、自動的に標準モード (コピー枚数1、オート濃度、等倍) に戻ります。

# パーセント指定で拡大・縮小コピーする

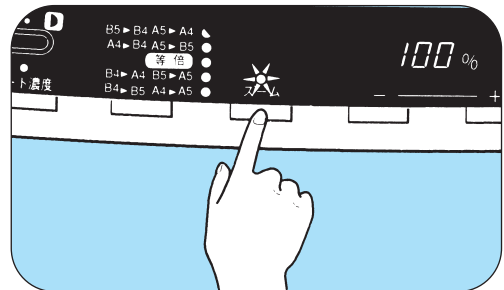


パーセント単位で拡大縮小率を指定してコピーすることができます。指定できる範囲は70~141%です。



1

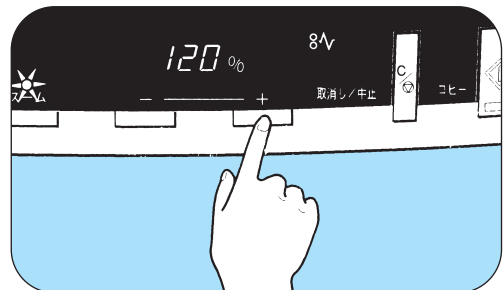
ズームモードキーを押します。ズームモード表示に現在のパーセンテージ（倍率）が表示されます。



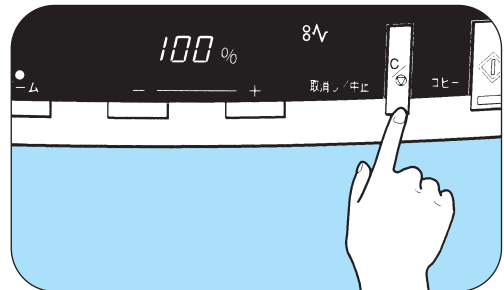
2

コピー枚数/ズームセットキーを押して希望のパーセンテージを表示させます。設定後、指を離すと3秒後にはコピー枚数の表示に戻ります。

たとえば120%に拡大したいときは、表示が「120%」になるまで+を押し続けます。設定が終わる前にコピー枚数の表示に戻ってしまったときは、再びズームモードキーを押してください。

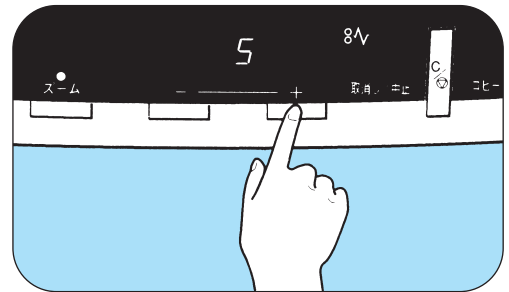


●**等倍（100%）に戻すには**コピー枚数/ズーム表示にパーセンテージが表示されているときに取消し/中止キーを押すと、100%に戻ります。



### ●2枚以上コピーしたいとき

パーセンテージとコピー枚数を両方設定することもできます。パーセンテージを設定して3秒後にコピー枚数が表示されたら、再びコピー枚数/ズームセットキーを押して、今度はコピー枚数を設定してください。(32ページ参照)

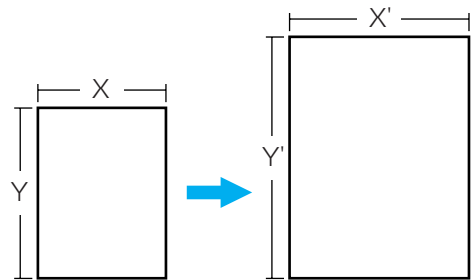


### ●パーセンテージの計算のしかた

$X'/X \times 100$  または  $Y'/Y \times 100$  が求めるパーセンテージです。

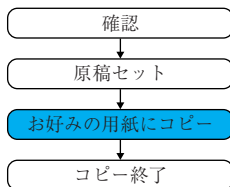
主な紙サイズの拡大・縮小倍率は以下のとおりです。

拡大	B5→B4	141%
	A4→B4	122%
	B5→A4	115%
縮小	A4→B5	86%
	B4→A4	81%
	B4→B5	70%

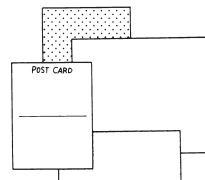


コピー終了後、またはキー操作後、2分間何の操作も行われなかった場合には、自動的に標準モード（コピー枚数1、オート濃度、等倍）に戻ります。

# お好みの用紙にコピーする (手差しコピー)

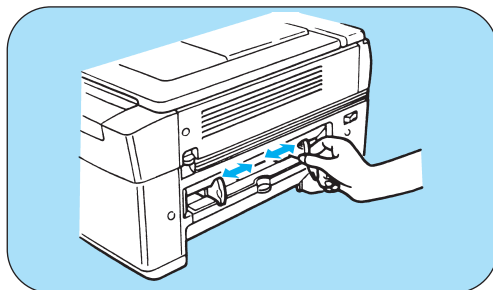


はがき、名刺、OHPフィルムなどにコピーするときは、手差し部から用紙を差しこみます。



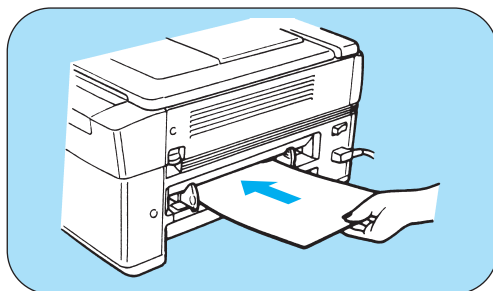
1

手差しガイドをスライドさせて用紙の幅に合わせます。



2

コピーしたい面を上にして用紙を、手差し部から1枚ずつ、本体に突き当たるまで差しこんでください。用紙が自動的に送りこまれてコピーされます。



## ●特殊な用紙を使うとき

特殊な用紙を使うときは、次のことに注意してください。

### はがき

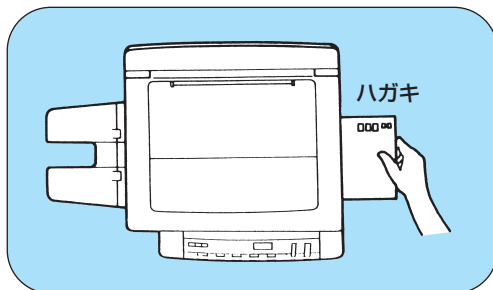
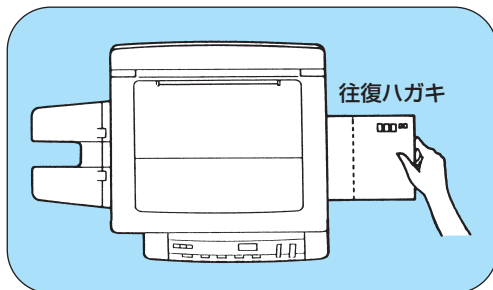
- ・はがきは、手差し部の用紙サイズ指標に合わせて手差し部から挿入してください。
- ・はがきなどにコピーとワープロで印字とを両方行う場合、コピーを先に行ってください。ワープロで印字したはがきにコピーすると、画像が汚れたり、紙づまりを起すことがあります。
- ・往復はがきは、折り目を広げた状態で給紙ガイドの「ハガキ」に合わせて挿入してください。

### 名刺

- ・コピーできる名刺は大きさ88×51mm以上、厚さ200g/m<sup>2</sup>以下です。

### OHPフィルム

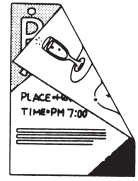
- ・コピーされたOHPフィルムは、1枚ごとに排紙トレイから取り除いてください。紙づまりの原因となります。



連続してコピーするときは、コピー枚数/ズーム表示の数字が“0”に変わってから次の用紙を挿入してください。

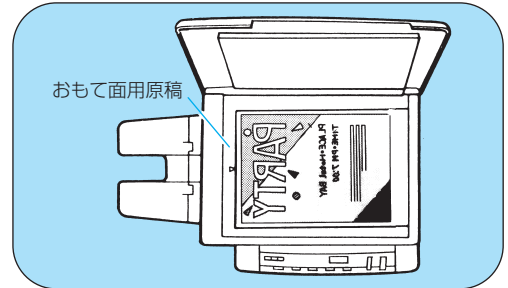
# 両面コピーをとる (カセットに用紙をセットする場合)

普通のコピー用紙に両面コピーをとる場合はカセットに用紙をセットできます。両面コピーを複数枚とるときなどに便利です。



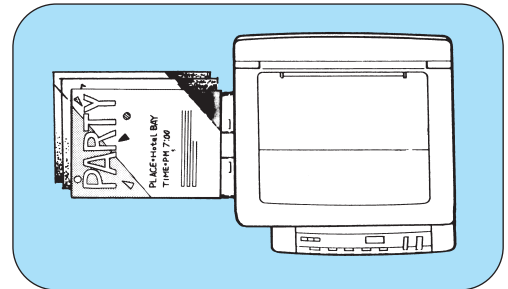
1

おもて面用の原稿をセットします。



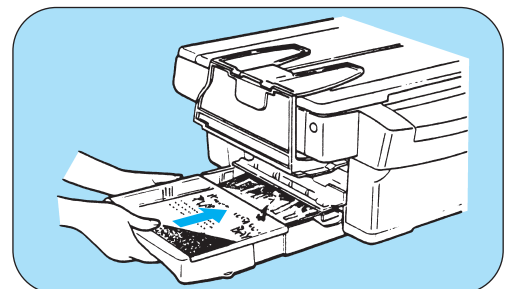
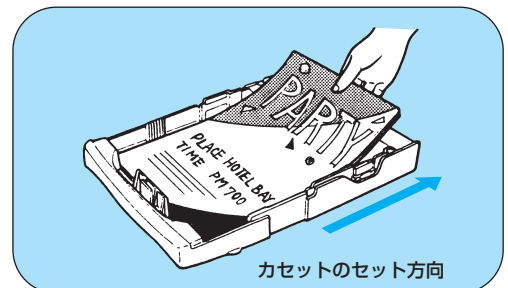
2

コピーしたい枚数をセットし、おもて面をコピーします。  
コピー枚数の設定については32ページをご覧ください。



3

おもて面のコピーをとり終わった用紙をカセットに入れて本体にセットします。  
おもて面のコピーをとり終わった用紙は、コピーされた面を上にしたまま天地をさかさまにしてセットしてください。

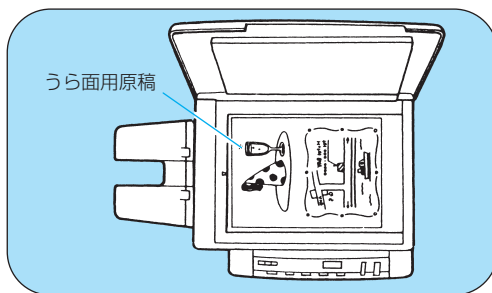


**重要**

- ・用紙のカールはよく伸ばしてからセットしてください。
- ・連続して両面コピーをとる場合、紙づまりや紙シワが発生する場合があります。その場合は、手差しによる両面コピーをお勧めします。手差しによる両面コピーに関しては、次ページをご覧ください。

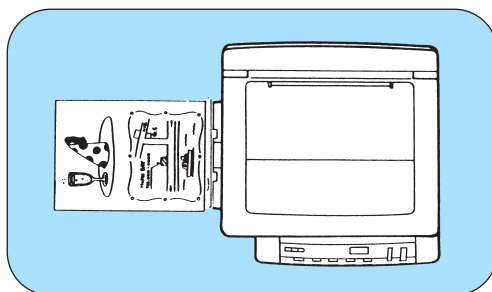
4

うら面用の原稿をセットします。  
おもて面用の原稿のときと同じ向きにセ  
ットします。



5

コピーしたい枚数をセットし、うら面を  
コピーします。  
コピー枚数の設定については32ページをご  
覧ください。

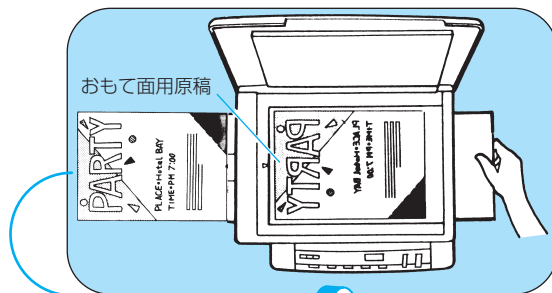


## 両面コピーをとる (手差しコピーを用いる場合)

はがき、名刺などにコピーするにはこの手順  
に従ってください。

1

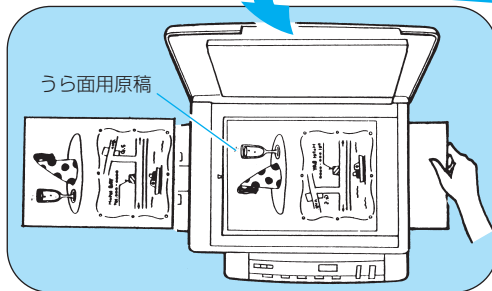
おもて面用の原稿をセットします。  
用紙を手差し部から挿入してコピーをと  
ります。



2

おもて面用の原稿のときと同じ向きにう  
ら面用の原稿をセットします。  
1でコピーした用紙を裏返して手差し部  
から挿入し、コピーをとります。

- おもて面をコピーしたときと同じ向きで挿  
入してください。
- 用紙のカールをよく伸ばしてから挿入して  
ください。



**重要**

両面コピーには60~128g/m<sup>2</sup>の用紙を使用してください。

# 4 カートリッジの交換と保管

インジケーターの色が赤になったときには、カートリッジを交換します。ここでは、カートリッジの交換や保管のしかたについて説明します。



# カートリッジについて

ここでは、カートリッジの交換や保管のしかたについて説明します。

## カートリッジの交換

カートリッジ交換の目安はインジケータ  
ーの色でお知らせします。

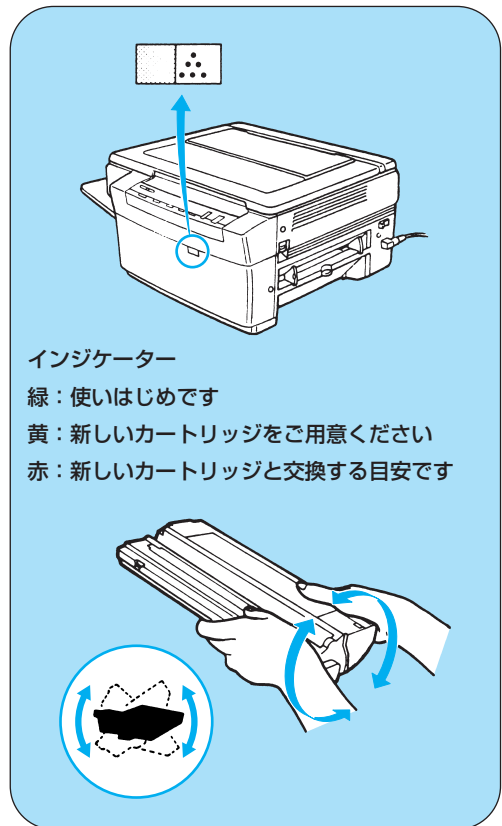
●カートリッジを交換するとき、定着器  
クリーナーも新しいものと交換しま  
す。新しい定着器クリーナーは、カー  
トリッジと一緒に梱包されています。

●カートリッジBブラックの場合、  
A4:4%標準原稿\*で約5000枚、  
A4:6%標準原稿で約3300枚のコピ  
ーがとれます。

\*A4:4% (6%) 標準原稿とはA4サ  
イズを100%とした場合にベタ部分  
が4% (6%) に相当する原稿のこ  
とをいいます。

●写真や黒の部分の多い原稿 (A4:6%  
標準原稿以上) のコピーをたくさん  
とった場合や、原稿台カバーを開いて  
コピーをとった場合には、カートリ  
ジ内のトナーの消費量が多くなるた  
めインジケータが赤くなる前に部分  
的に画像が薄くなり、コピーがとれ  
なくなることがあります。

●交換の前にカートリッジを水平に持  
って両方向に90°くらい数回、回  
転させ、再度本体にセットすると、  
まだコピーをとれる場合があります。



インジケータ

緑：使いはじめてす

黄：新しいカートリッジをご用意ください

赤：新しいカートリッジと交換する目安です

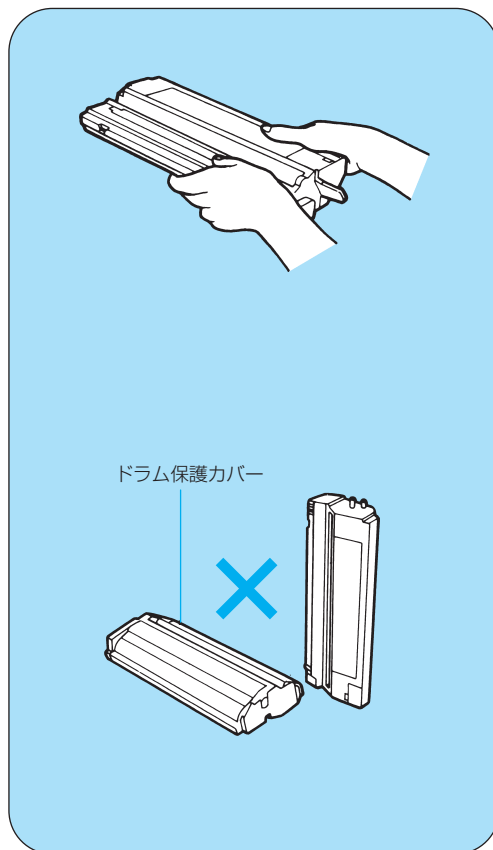
**▲警告** 使用済みカートリッジを火中に  
投げないでください。カートリ  
ジ内部に残っているトナーに  
引火して、カートリッジが燃え  
て、やけどや火災の原因になり  
ます。

## カートリッジ回収についてのご案内

キヤノンでは、地球をとりまく環境保全と資源の有効活用を行なっていく  
ために、お客様ご使用済みカートリッジの回収を推進しております。  
つきましては、ご使用済みとなったカートリッジをお買い求めの販売店に  
お持ちいただければ幸いです。  
主旨ご理解のうえ、お客様のご協力をお願い申し上げます。

## カートリッジ取扱いの注意

- カートリッジを持つときは、図のように注意書き面を上にして持ってください。また、カートリッジ下部のドラム保護カバーを強く押さえたり動かしたりしないでください。
- カートリッジは注意書き面を上にして置いてください。立てたり逆さまに置いたりしないでください。
- 分解したり、カートリッジの下部に触れないようにしてください。
- 直射日光を避け、40℃以下で保管してください。
- 寒い戸外から暖かい部屋に複写機を持ち込んだり、部屋を急に暖房したりすると、複写機内部に水滴がつき（この現象を結露といいます）、画像が出なくなることがあります。  
この場合は、本機を2時間以上放置し、室温になじませてからご使用ください。



## カートリッジの保管

- ・カートリッジはお買い上げのときに入っていた袋に入れ、さらに注意書き面を上にして保管箱に入れ、直射日光を避けて保管してください。（カートリッジが入っていた箱を保管しておくことをおすすめします。）
- ・袋がない場合は、注意書き面を上にして暗い所で保管してください。
- ・立てたり、上下を逆にして保管しないでください。
- ・幼児の手の触れないところに保管してください。
- ・ストーブや加湿器などの前は避けて、40℃以下で保存してください。

□望ましい保管環境    温度20℃～25℃  
湿度40%～70%

## ●開封後のカートリッジの保管

開封後のカートリッジを保管する場合は、カートリッジが入っていた袋に入れ、さらに保管箱（お買い上げのときにカートリッジが入っていた箱）に入れてください。また、保管箱のふたをしっかり閉じて保管してください。袋や保管箱がない場合は、必ず暗い所で保管してください。

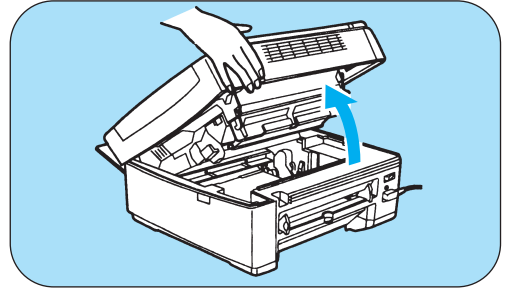
# カートリッジと定着器クリーナー

カートリッジの交換のしかたを説明します。

カートリッジは、この機種専用のキヤノンカートリッジBをお使いください。

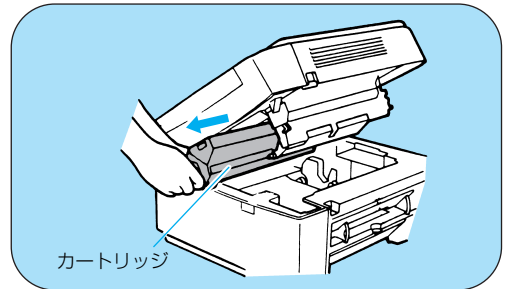
1

グレーの開閉レバーを上へ引いて、本体を開けます。



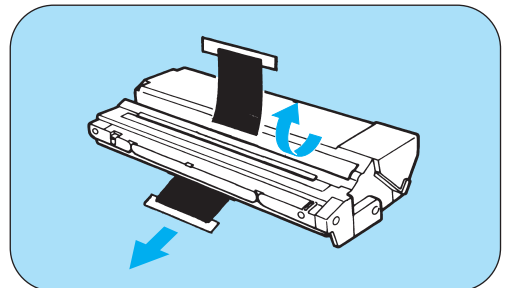
2

使用済みのカートリッジを本体から引き出します。



3

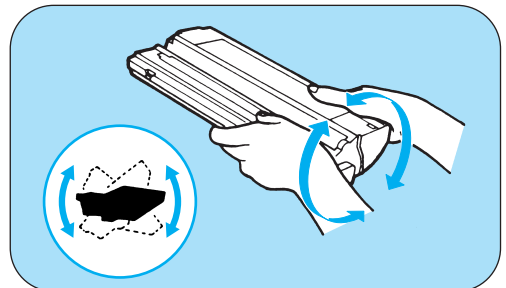
新しいカートリッジのテープをはがして、保護シートを2枚とも取り除きます。



4

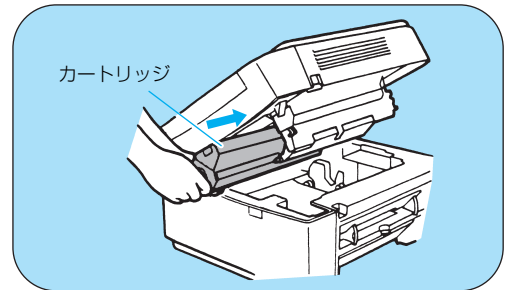
カートリッジを水平に持ち、両方向に90°くらい、数回振ります。

カートリッジは図のように注意書き面を上にして持ってください。また、カートリッジ下部のドラム保護カバーを強く押さえたり動かしたりしないでください。



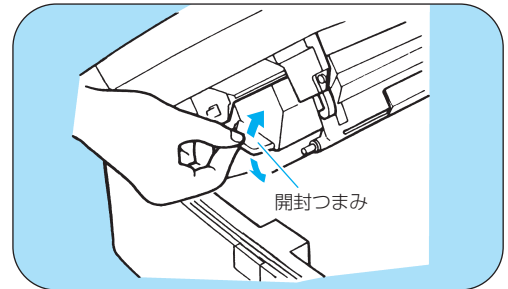
5

本体に突き当たるまでカートリッジを静かに入れます。



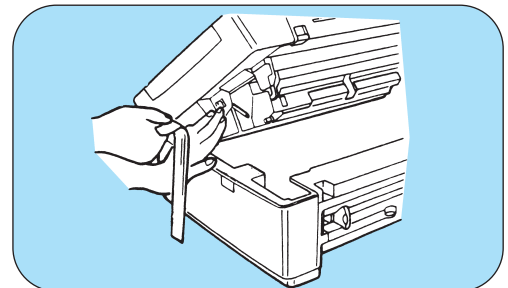
6

黒色の開封つまみを折ります。



7

カートリッジを手で押さえ、開封つまみを手前に強く引いて開封シールを完全に引き抜きます。



**▲注意** シールにはトナーが付着していますので、衣服などに触れないようにご注意ください。衣服や手が汚れた場合は、直ちに水で洗い流してください。温水で洗うとトナーが定着し、よごれがとれなくなることがあります。

- 重要**
- ・開封シールが途中で切れることがありますのでシールは斜めに引かないでください。シールが途中で切れたカートリッジは使用できません。
  - ・カートリッジを手で上から強く押さえつけないでください。

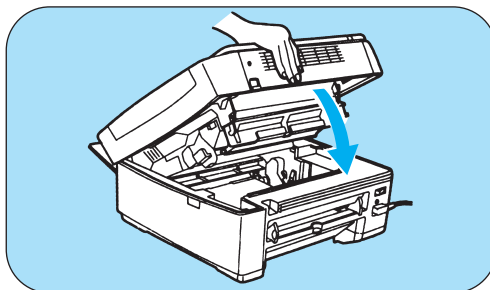
8

本体右上部の中央を押して、確実に本体を閉じます。

手をはさまないように注意してください。



- ・カートリッジを新しいものに交換したときには、定着器クリーナーも忘れずに交換してください。(17ページ参照)
- ・使い終わったカートリッジの回収については40ページをご参照ください。

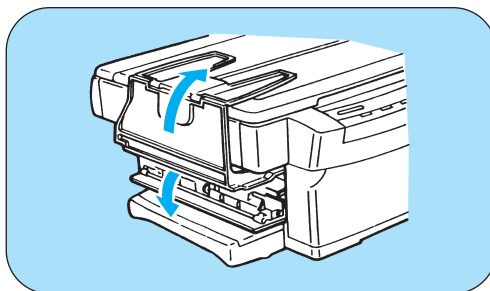


## 定着器クリーナー

定着器クリーナーは、カートリッジと一緒に梱包されています。カートリッジを交換するときは、定着器クリーナーも新しいものと交換してください。

1

排紙トレイを折りたたみ、グレーのつまみを手前に引いて排紙カバーを開きます。



2

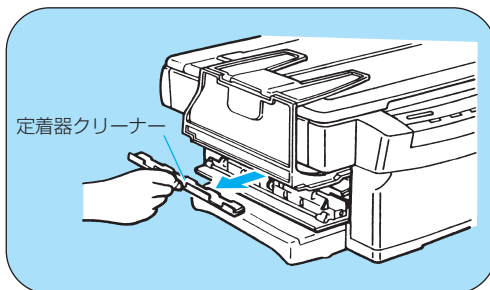
黒いつまみを持って手前に引き、古い定着器クリーナーを取り出します。

次に、新しい定着器クリーナーを取りつけます。

白いフェルトを下にして、青いローラー(定着ローラー)の上にはめてください。

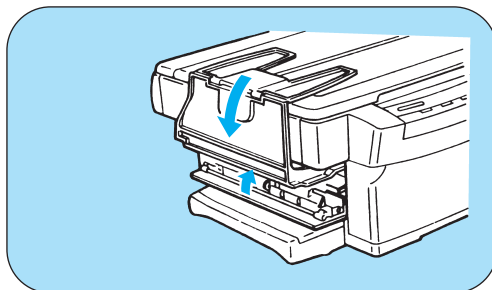


**警告** 機械内部には定着器など高温・高圧になる部分があります。紙づまりの処理など内部を点検するときは、これらの部分に触れないように点検してください。やけどや感電の原因になることがあります。



3

排紙カバーを静かに閉じ、排紙トレイをもとどおりにします。



# 5 こんなときは

ここでは、トラブルが生じたときの対処方法を説明します。



本章の説明に従って処理を行っても機械が正常に動かない／きれいなコピーがとれない場合は59ページの「パーソナル商品修理受付票」にご記入の上、お買い求めの販売店または、サービス店にご連絡ください。

## **P**が点灯したら (紙補給／紙送り点検)

**▲注意** コピー用紙を補給するとき、紙づまりを取り除くときは、コピー用紙の端で手を切ったりしないように、注意して扱ってください。

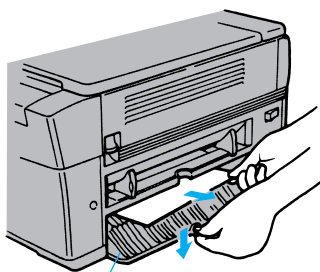
カセット内にコピー用紙が入っていますか？

はい

いいえ

### カセット、紙送り点検

- 1 カセットが奥までしっかり入っているか確認してください。
- 2 右カバー（手差しガイドの下のカバー）を指で押して開き、用紙がつまっている場合は取り除いてください。



右カバー

### 紙補給

コピー用紙をカセットに入れてください。  
(24ページ参照)

**コピーキーを押します。**

**P**が消え、コピーが再開されます。

# ⚡ が点滅したら (紙づまり)

- ▲ 注意**
- ・機械内部には定着器など高温、高圧になる部分があります。紙づまり処理など内部を点検するときは、これらの部分に触れないように点検してください。やけどや感電の原因になることがあります。
  - ・紙づまりの処理など内部を点検するときは、ネックレス、プレスレットなどの金属物が機械内部に触れないように点検してください。やけどや感電の原因になることがあります。
  - ・紙づまりでコピー用紙を機械内部から取り除くときは、紙づまりしているコピー用紙の上ののっているトナーが衣服や手に触れないように取り除いてください。衣服や手が汚れます。衣服や手が汚れた場合には、直ちに水で洗い流してください。温水で洗うとトナーが定着し、汚れがとれなくなることがあります。
  - ・紙づまりでコピー用紙を機械内部から取り除くときは、紙づまりしているコピー用紙の上ののっているトナーが飛び散らないように、丁寧に取り除いてください。トナーが目や口に入ることがあります。トナーが目や口に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師と相談してください。
  - ・コピー用紙を補給するとき、紙づまりを取り除くときは、コピー用紙の端で手を切ったりしないように、注意して扱ってください。

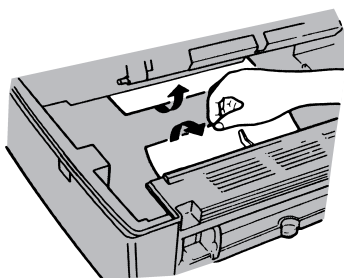
⚡ が点滅したときは紙づまりです。本体を開き、紙がどこにつまっているか確認してください。

本などの厚手の原稿は、本体を開ける前に原稿台から降ろしてください。

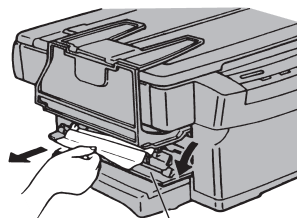
つまっている紙が見える

つまっている紙が見えない

- 1 紙の先端が少しだけのぞいている場合は、右カバー（手差しガイド下のクリーム色のカバー）を開き、そこから紙を取り除きます。（前ページのイラスト参照）
- 2 それ以外の場合は、そのまま紙を取り除いてください。



まず本体を閉じます。排紙トレイを折りたたみ、グレーのつまみを手前に引いて排紙カバーを開きます。つまっている紙を手前に強く引いて取り除きます。



排紙カバー

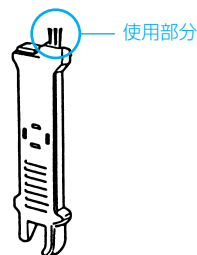
処理したあと数枚のコピーは、裏面が汚れることがあります。  
内部に紙片を残さないようにしてください。

**本体や排紙カバーを閉じます。**

必要な場合は、コピー枚数を再設定してください。

## 紙づまりが頻発する

紙づまりが頻発する場合は、専用クリーナーを使って除電針を清掃してください。



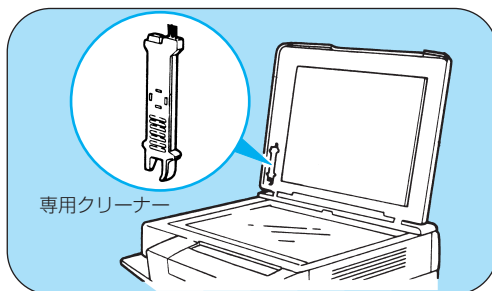
専用クリーナー

1

清掃の前に電源スイッチを切り、電源コードを抜きます。

原稿台から専用クリーナーを取ります。

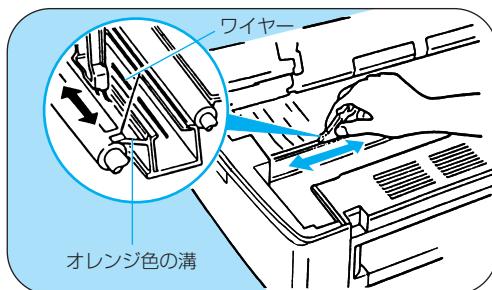
**▲注意** 清掃のときは、電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いてください。火災や感電の原因になります。



2

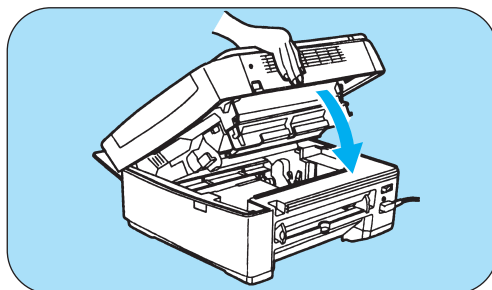
専用クリーナー先端のブラシで本体内部のオレンジ色の溝を力を入れて汚れを掃き出します。

張ってある細いワイヤーを切らないようご注意ください。



3

本体を閉じ、専用クリーナーを収納場所に戻します。



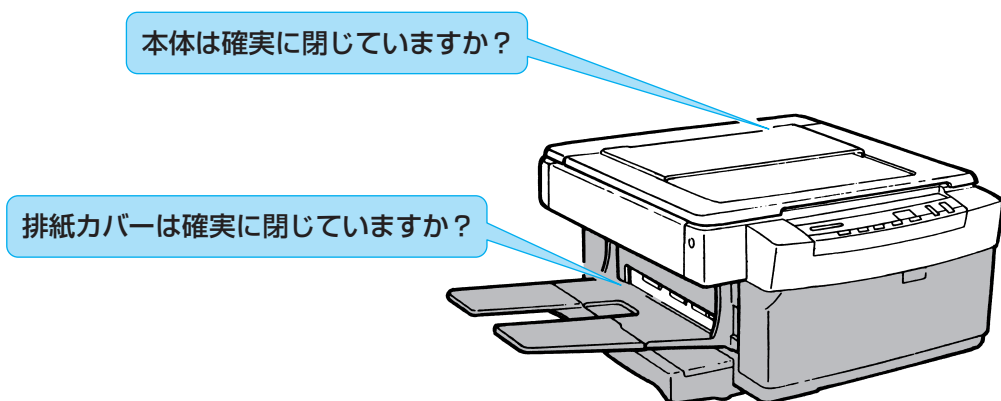
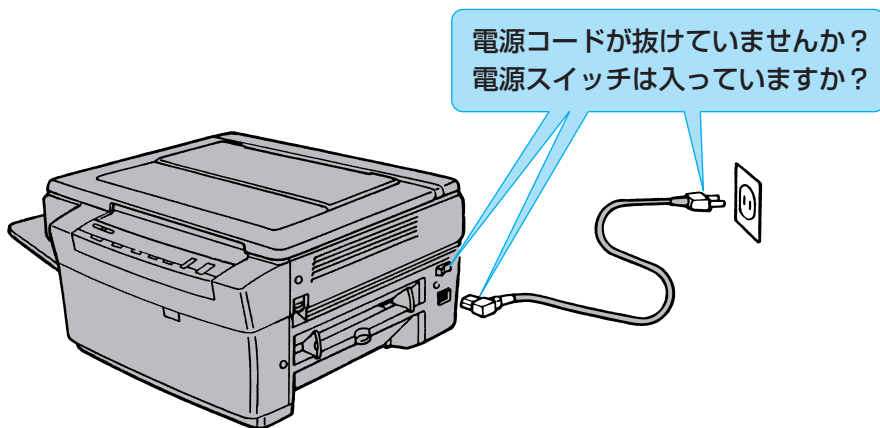
# **E**と数字が点滅したら

.....  
電源プラグを抜いてお買い求めの販売店またはサービス店にご連絡ください。  
.....

# 機械が動かない / 画像が出ない

## 機械が動かない

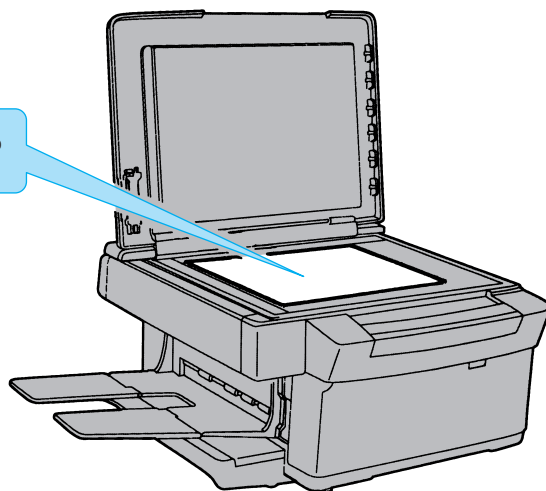
次のことを確認してください。



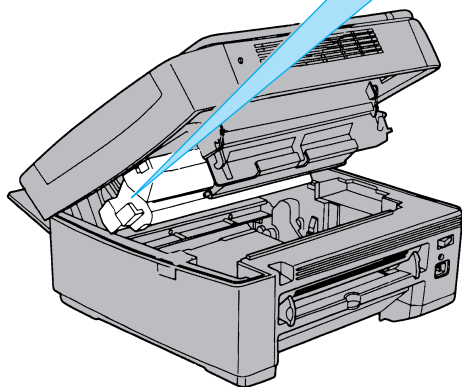
## 画像が出ない

次のことを確認してください。

原稿はセットされていますか？

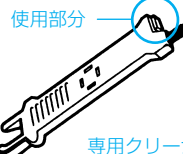


カートリッジは本体に入っていますか？  
カートリッジの開封シールは抜き取ってありますか？



# 帯状に黒くなる / 全体が黒くなる

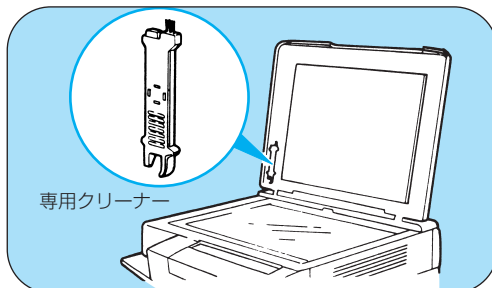
**▲警告** 清掃のときは、電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いてください。火災や感電の原因になります。



専用クリーナーで、防塵ガラスとカートリッジ帯電線を清掃してください。

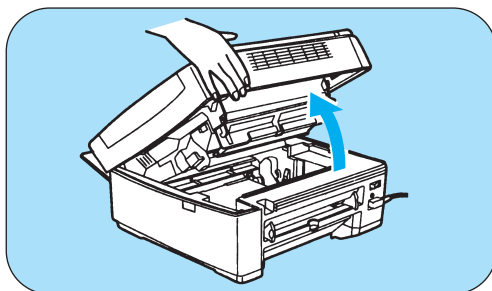
1

原稿カバーから専用クリーナーを取り出します。



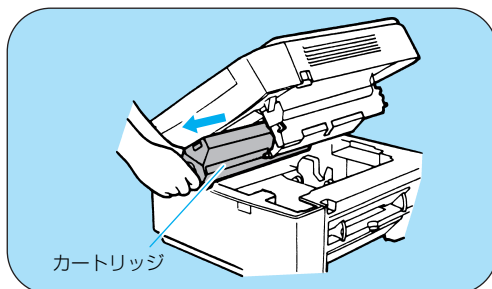
2

グレーの開閉レバーを上へ引いて本体を開けます。



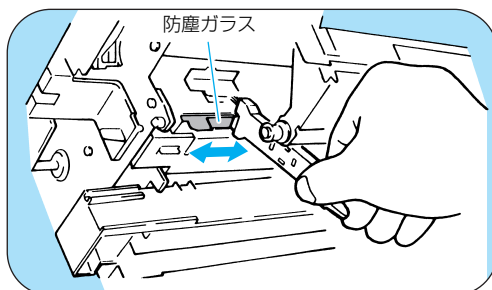
3

カートリッジを引き出します。

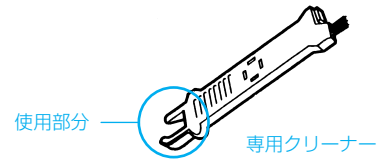


4

本体上部の防塵ガラスに専用クリーナーをあて、端から端まで数回拭きます。

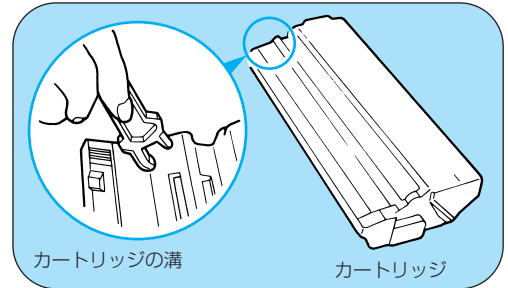






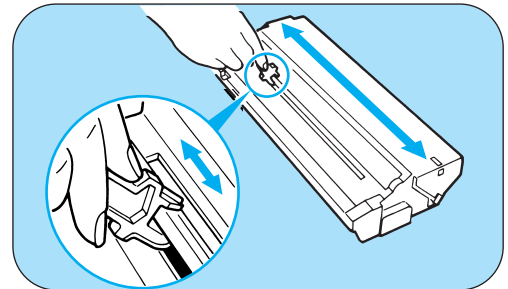
5

次に、引き出したカートリッジの帯電線を清掃します。  
専用クリーナー先端のフェルトを、カートリッジの溝に奥まで差し込みます。



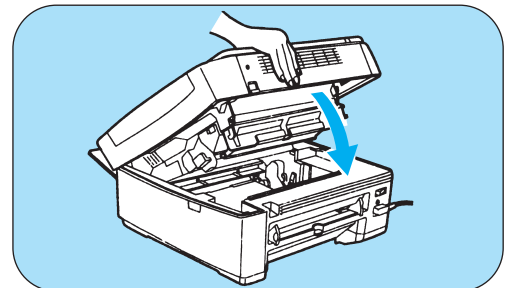
6

青い矢印の方向に押しあてながら、専用クリーナーを溝の端から端まで数回動かします。



7

カートリッジをもとどおりにセットし、本体を静かに閉じます。



●コピーの裏または先端が黒くよごれているとき

転写ガイドを清掃してください。(57ページ2参照)

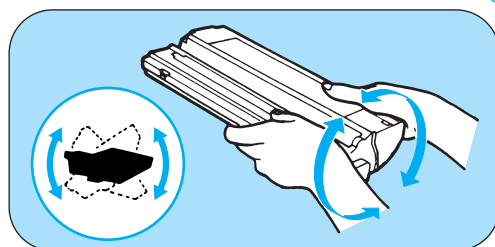
●清掃してもきれいなコピーがとれないとき

結露（露付き）が起きていませんか？  
(12ページをご覧ください)

# 帯状に白くなる


新しいカートリッジでは使い始めに白いスジが出るかもしれませんが、しばらく使用するとなくなります。

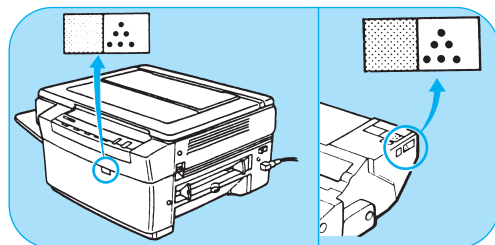
カートリッジを本体から引き出し、図のように数回振ります。



それでも直らないときは

インジケーターは何色ですか？

インジケーターが  のように黒い場合は、本体を開け、カートリッジ上面手前のインジケーターを見てください。



赤

緑または黄

新しいカートリッジと交換します。(40ページ参照)

新しいカートリッジと交換するさいには、同時に定着器クリーナーも交換してください。新しい定着器クリーナーは、カートリッジと一緒に梱包されています。(44ページ参照)

専用クリーナーでカートリッジの帯電線を清掃してください。(55ページ5~7参照)

濃い原稿をたくさんコピーしたり、原稿台カバーを開けてコピーすることが多かった場合、インジケーターが赤になる前に画像が薄くなり、コピーがとれなくなることがあります。この場合は、新しいカートリッジと交換してください。

それでも直らないときは

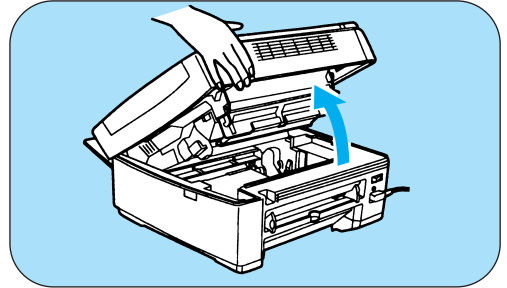
次ページの手順で本体内部を清掃してください。

## 本体内部の清掃

**▲注意** 清掃のときは、電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いてください。  
火災や感電の原因になります。

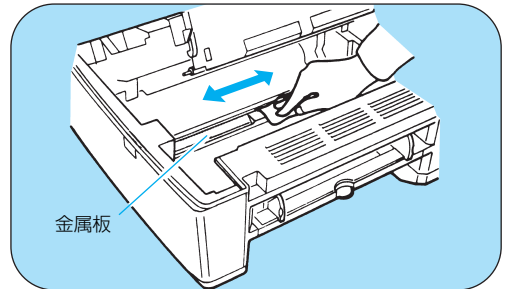
1

電源スイッチを切り、電源コードを抜きます。  
グレーの開閉レバーを引いて、本体を開けます。



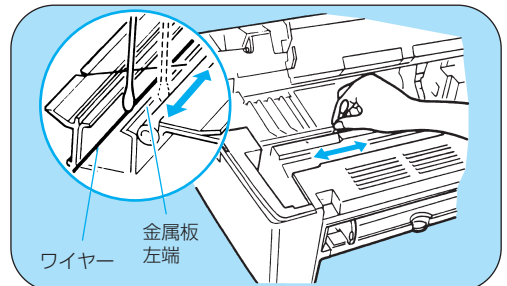
2

水で湿らせた布を固く絞って金属板を拭きます。



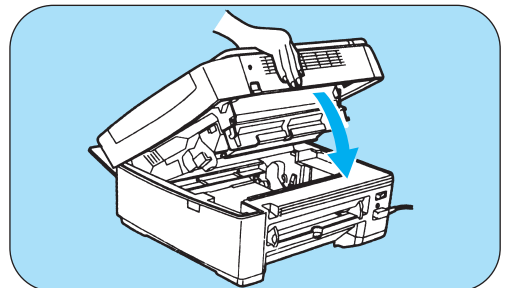
3

市販の綿棒で細いワイヤーを拭きます。  
ワイヤーを切らないようご注意ください。  
次に金属板の左端を綿棒で拭きます。除電針も清掃してください。(50ページ参照)



4

本体を静かに閉じます。



# どうしても直らないときは

ここで説明した処理を行っても機械が正常に動かない／きれいなコピーがとれない場合は、次ページの「パーソナル商品修理受付票」にご記入のうえ、お買い求めの販売店またはサービス店にご連絡ください。

# 修理をご依頼されるときは

■修理をご依頼の際は、下記の「パーソナル商品 修理受付票」のコピーにご記入し、点線にそって切り取ったものをコピー機本体といっしょに、お買い求めの販売店、または当社（別紙の「パーソナル向けコピーサポートガイド」をご覧ください。）までご持参あるいはお送りください。（参照「保証および保守サービスについて」→63ページ）

-----（切り取り線）-----

## パーソナル商品 修理受付票

フリガナ

お客様のお名前：

ご住所：（宅記のご利用の場合は、修理後の商品を返送する住所をご記入ください）

〒

電話番号：

製品名： 機番：

お買い上げ日： 年 月 日

故障した日： 年 月 日

保証期間：期間中／期間切れ（どちらかに○をお付けください）

（保証期間中の保証書は、必ず商品に添付、または商品と一緒にお持ちください）

故障内容：（どのようにご使用のときに）

（どのような不具合がありますか）

お客様からのご連絡（ご自由にお使いください）：

お買い上げいただいた販売店：

販売店の住所：〒

電話番号：

（切り取り線）

# 6 ふだんの お手入れと 保守・サービス

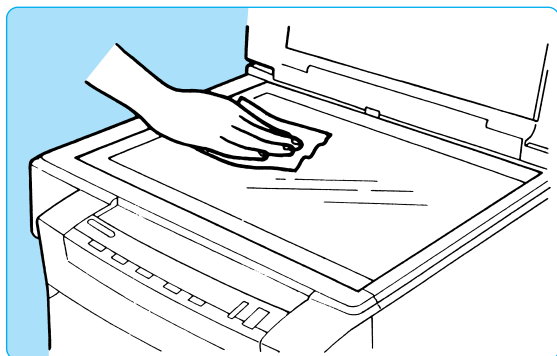
# ふだんのお手入れ

- ▲警告** ・清掃のときは、電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いてください。火災や感電の原因になります。
- ・清掃のときは、中性洗剤を含ませて固くしぼった布を使用してください。アルコール、ベンジン、シンナーなどの引火性溶剤は使用しないでください。引火性溶剤が機械内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。

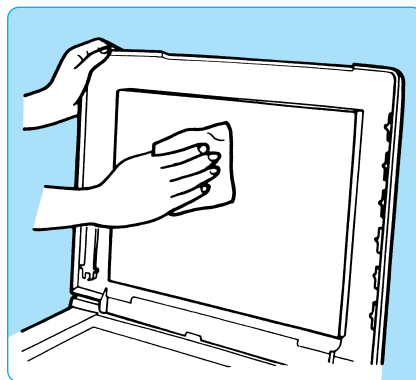
原稿台ガラス、原稿台カバー、手差しトレイ、排紙トレイはいつもきれいにしておいてください。中性洗剤を固くしぼった布で汚れを落とした後、から拭きします。

**☑お願い** 水・中性洗剤（台所用洗剤など）以外のものは使用しないでください。

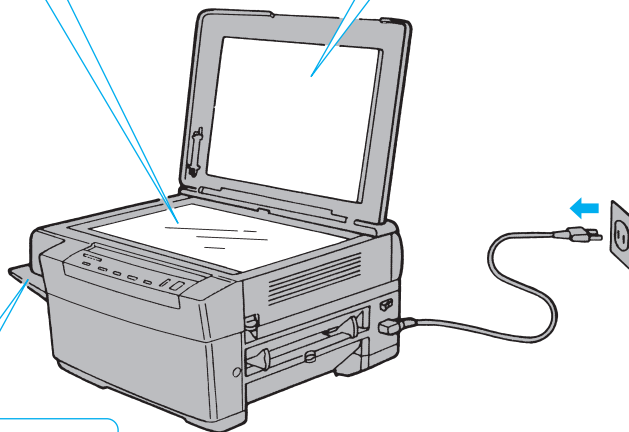
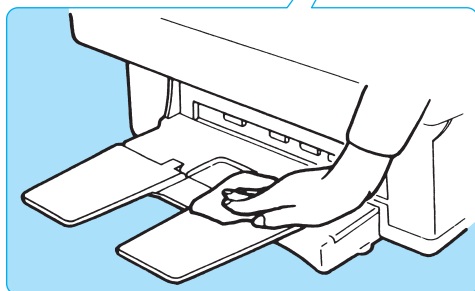
原稿台ガラス



原稿台カバー



排紙トレイ



# 保証および保守サービスについて

## 保証書

製品には保証書が添付されています。必要な事項が記入されているかどうか確認の上、大切に保管してください。

万一の故障のさいの本体無償修理期間は1年間です。但し、カートリッジ不良の場合は除きます。

## 保証内容

保証内容は保証書に記載されていますのでご確認ください。

## 部品の保有期間

補修用性能部品（製品の性能を維持するために必要な部品）の保有期間は、本体製造打切り後7年間です。

## 保守サービス

本機を良好な状態でお使いいただくために、次の2種類の保守サービスを用意しましたのでご利用ください。（詳細は販売店にお問い合わせください）

### ①スポットサービス方式

お客様の要請に応じて、そのつど有料で保守サービスをいたします。

### ②年間保守契約方式

一定の年間保守料金で、機械（カートリッジを除く）が故障した場合の保守サービス、ならびに必要な場合の部品交換をいたします。

## お問い合わせのときは

機械の故障などでサービス担当にお問い合わせのさいには、59ページの『パーソナル商品修理受付票』を参照し、故障内容を詳しくお知らせ下さい。

## お願い

- ・本商品、ならびに関連する消耗品、サービス役務等につきましては、別途消費税を申し受けませんのでご了承ください。
- ・その他アフターサービスなどについてご不明な点がございましたら、お買い求めの販売店またはキヤノンのサービス窓口にお問い合わせください。

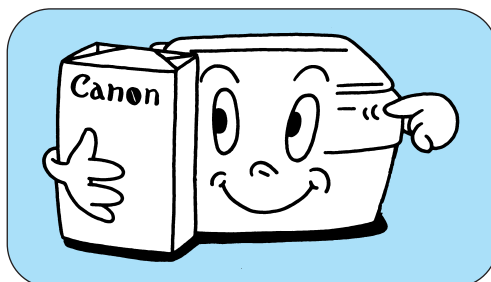


# コピー用紙保管上の注意

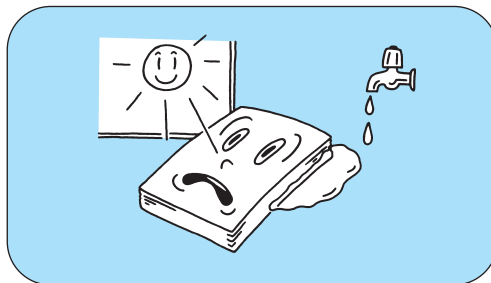
コピー用紙を入手するときや保管するときは、次のことにご注意ください。

快適なコピーをおとりいただくため、なるべくキヤノン推奨の用紙をご使用ください。

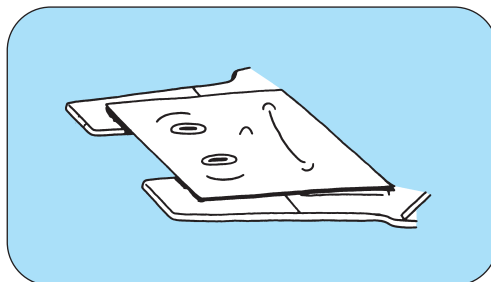
市販されている用紙の中には本機に合わないものもありますので、市販の用紙を使用するさいは販売店にお問い合わせください。



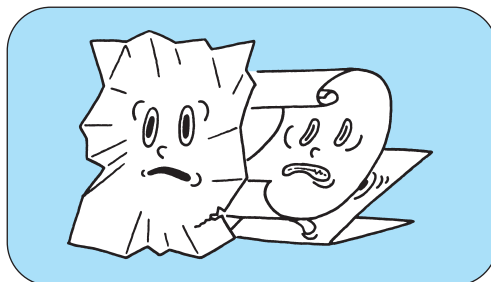
湿気が少なく、直射日光の当たらない場所に保管してください。また開封後のコピー用紙は包装紙に包んで保管してください。立てかけずに水平に置いて保管してください。



コピーをとったあと、排紙トレイ上に紙を置いたままにしないでください。



折り目やしワ・カールのある用紙は使わないでください。



# PC110の仕様

1. 形式	デスクトップタイプ
2. 原稿台方式	固定
3. 感光体種類	OPC (有機半導体)
4. 複写方式	間接静電転写方式
5. 現像方式	乾式-成分ジャンピング現像方式
6. 定着方式	ヒートローラー方式
7. 複写原稿	最大B4サイズまでのシート、本、立体物 (最大2kgまで)
8. 複写用紙	紙厚: 50g/m <sup>2</sup> ~128g/m <sup>2</sup> (カセット給紙64g/m <sup>2</sup> ~80g/m <sup>2</sup> ) 普通紙・OHP用紙・第二原図用紙・ラベル紙・カラーペーパー・厚手紙 (128g/m <sup>2</sup> まで)・再生紙 郵便はがき・名刺 (名刺は200g/m <sup>2</sup> 以下)
9. 複写サイズ	B4~名刺サイズ (88×51mm以上)
10. 画像欠け幅	先端2mm
11. ウォームアップタイム	約30秒 (20℃)
12. ファーストコピータイム	18秒 (A4サイズ等倍コピーの場合)
13. 連続複写速度	等倍: A4: 10枚/分、A5: 10枚/分、B4: 9枚/分、 B5: 10枚/分 縮小: B4→A4: 10枚/分、B4→B5: 10枚/分、 A4→A5: 10枚/分、B5→A5: 10枚/分 拡大: A4→B4: 8枚/分、B5→B4: 9枚/分、 A5→A4: 9枚/分、A5→B5: 9枚/分
14. 複写倍率	1:1 (±0.6%)、1:1.412、1:1.224、1:0.817、1:0.707 ズーム: 0.707~1.412
15. 給紙方式	カセット給紙、手差し給紙
16. 連続複写	99枚まで
17. 排紙トレイ積載枚数	20枚まで
18. 電源	100V、15A、50Hz、60Hz (50Hz、60Hz地域用は別々)
19. 最大消費電力	1.2kW以下
20. エネルギー消費効率	50Hz: 16.5Wh/h、60Hz: 16.5Wh/h
21. 大きさ	50.6cm (幅) × 53.2cm (奥行) × 29.0cm (高さ)
22. 質量	26.1kg (カートリッジ1.45kgを含む)
23. 機械占有寸法	71.5cm (幅) × 53.2cm (奥行)

\* 製品改良のため記載事項が一部変更になることがありますのでご了承ください。

## 付属品・消耗品

### ・付属品

カセット	×1
排紙トレイ	×1
専用クリーナー（原稿台カバー裏）	×1
電源コード	×1
アースコード	×1
カートリッジB	×1
コピーのとりかたシート	×1

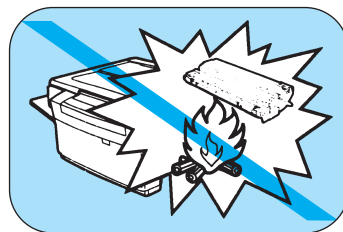
### ・消耗品

コピー用紙
カートリッジB

現在市販されている用紙にはいろいろな種類のものがあり、なかには本機に合わないものもあります。

ご使用のさいにはお買い求めの販売店にお問い合わせください。

- ▲注意** ●カートリッジを火中に投げないでください。カートリッジ内部にあるトナーに引火して、カートリッジが燃えて、やけどや火災の原因になります。（40ページ参照）
- カートリッジ、コピー用紙は火気のある場所に保管しないでください。トナーやコピー用紙に引火して、やけどや火災の原因になります。



- ▲注意** ●カートリッジなどの消耗品は幼児の手が届かないところへ保管してください。もしカートリッジ内のトナーを飲んだ場合は、直ちに医師と相談してください。

パーソナル向けコピー（ファミリーコピー・ミニコピー）に関するご質問・ご相談は、下記の窓口をお願いいたします。

お客様相談センター（全国共通番号）

**050-555-90023**

[受付時間] <平日> 9:00~20:00  
<土日祝日> 10:00~17:00  
(1/1~1/3は休ませていただきます)

※上記番号をご利用いただけない方は（043-211-9333）をご利用ください。  
※IP電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってつながらない場合があります。  
※受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

消耗品のご注文先

販売店

電話番号

担当部門

担当者

サービス担当者 連絡先

販売店

電話番号

担当部門

担当者



自然環境保護に協力しています。  
キヤノングループは、自然環境の保護と資源の有効活用を推進するために、お客様ご使用済みのカートリッジ回収を推進しております。

**Canon**

キヤノン株式会社

キヤノンマーケティングジャパン株式会社

〒108-8011 東京都港区港南2-16-6